

令和 3 年度

浜島中学校他トイレ改修工事

| No | 図 面 名 称 | No | 図 面 名 称 | No | 図 面 名 称 |
|------|-------------------------|------|-------------------------|------|-------------------------|
| A-00 | 特記仕様書 | E-01 | 電気設備工事特記仕様書 | M-01 | 機械設備特記仕様書No.1 |
| A-01 | 改修特記仕様書（1） | E-02 | 改修後 職員便所 平面詳細図(浜島中学校) | M-02 | 機械設備特記仕様書No.2 衛生器具表 |
| A-02 | 改修特記仕様書（2） | E-03 | 改修後 生徒便所 平面詳細図(浜島中学校) | M-03 | 改修前・後 職員便所 平面詳細図(浜島中学校) |
| A-03 | 改修特記仕様書（3） | E-04 | 改修前・後 職員便所 平面詳細図(大王中学校) | M-04 | 改修前・後 生徒便所 平面詳細図(浜島中学校) |
| A-04 | 改修特記仕様書（4） | E-05 | 改修後 照明器具姿図 | M-05 | 改修前・後 職員便所 平面詳細図(大王中学校) |
| A-05 | 改修特記仕様書（5） | | | | |
| A-06 | 配置図（浜島中学校） 付近見取図 | | | | |
| A-07 | 配置図（大王中学校） 付近見取図 | | | | |
| A-08 | 改修前・後 職員便所 平面詳細図(浜島中学校) | | | | |
| A-09 | 改修前・後 生徒便所 平面詳細図(浜島中学校) | | | | |
| A-10 | 改修前・後 職員便所 平面詳細図(大王中学校) | | | | |
| A-11 | 改修後 建具表 | | | | |
| | | | | | |

[illegible]

Ⅱ．建築改修工事仕様

1．共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版〔平成31年制定〕」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版〔平成31年制定〕」（以下「標準仕様書」という。）による。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
(3) 本特記仕様書の表記
1 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
3 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）の規定による。

| 章 | 項 目 | 特 記 事 項 |
|----------|----------|--|
| ① 各章共通事項 | ① 適用基準 | 1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部 2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（平成28年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V0＝ m/s） 地表面粗度区分（ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ ） (1.4.1) [1.4.1] |
| | 2 適用区分 | ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V0＝ m/s） 地表面粗度区分（ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ ） (1.4.1) [1.4.1] |
| | ③ 環境への配慮 | 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の i) から iv) を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MD F、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が追加されていない材料を使用する。 iv) i) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の i) 又は ii) に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の iii) 又は iv) に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20 条の7 第4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20 条の7 第3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (1.4.2) [1.4.2] |
| | ④ 材料の品質等 | 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の i) から vi) の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出しての承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 i) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ii) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 iii) 安定的な供給が可能であること。 iv) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 v) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 vi) 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料 ・ |

⑤ 施工調査

※施工計画調査
本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管を含む）について事前調査、情報収集を行う。
報告書 監督職員に2部提出
立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付
調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする
○埋設配管の試験
範囲、復旧方法 ※図示 ○ 打合せによる。
・第一次判定（シーリング材種の判定）
日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。
サンプリング採取箇所（ ）採取箇所数（ ）
・第二次判定（P C B含有量の分析）
専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、P C B含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四周は除去し、採取部の内部（大気にとさらされていない部分）を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。
サンプリング採取箇所（ ）採取箇所数（ ）
i) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
ii) 測定対象室及び測定箇所数は次による。
測定対象室（ ）測定箇所数（ ）
測定対象室（ ）測定箇所数（ ）
測定対象室（ ）測定箇所数（ ）
・引渡しを要するもの
・金属類
・P C Bを含む機器類（ ）
・P C B含有シーリング材 使用箇所（ ）
・特別管理産業廃棄物
・廃石綿 9章による
・廃油
・臭化リチウム水溶液等
・現場において再利用を図るもの
・建設汚泥 ※再生資源化施設に搬出
・再資源化を図るもの
○小型蓄電池 ○廃せっこうボード
・蛍光ランプ及びH I Dランプ ・ガラス
・硬質塩化ビニル管及び継手
※せっこうボード
i) 廃せっこうボードの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、監督職員と協議する。
ii) 石綿含有廃せっこうボード 9章による
・その他の含有物質（ ） 搬出による
上記搬出先については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。
・分別解体等の方法（解体工事）

| 工 程 | 作 業 内 容 | 分別解体等の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|---|-----|---------|----------|-----------------|-------------|---|--------|---|----------------|---|--------|--|-------------|--|------------|---|--------------|---------------|-------|--------|--|--|-------------------|--|--|----|--|--|---------------|--|--|
| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | i) 建築設備、内装等 | 建築設備・内装材の取外し ※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ii) 屋根ふき材 | 屋根ふき材の取外し ・有 ・無 ※手作業 ・手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | iii) 外装材、 | 外装材・上部構造の取壊し ・有 ・無 ※手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | iv) 基礎、基礎ぐい | 基礎・基礎ぐいの取壊し ・有 ・無 ※手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | v) その他() | その他の取壊し ・有 ・無 ※手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○分別解体等の方法（新築、増築、修繕、模様替工事） <table><tr><th>工 程</th><th>作 業 内 容</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td rowspan="6">工程ごとの作業内容及び解体方法</td><td>i) 造成等、基礎ぐい</td><td>造成等の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>ii) 基礎</td><td>基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>iii) 上部構造部分、外装</td><td>上部構造部分、外装の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>iv) 屋根</td><td>屋根の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>v) 建築設備、内装等</td><td>建築設備・内装等の工事 ・有 ・無 ○手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr><tr><td>vi) その他()</td><td>その他の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用</td></tr></table> ・特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 <table><tr><th>特定建設資材廃棄物の種類</th><th>再資源化等をする施設の名称</th><th>所 在 地</th></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート及び鉄から成る建設資材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>木材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート</td><td></td><td></td></tr></table> 届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。 | | | 工 程 | 作 業 内 容 | 分別解体等の方法 | 工程ごとの作業内容及び解体方法 | i) 造成等、基礎ぐい | 造成等の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | ii) 基礎 | 基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | iii) 上部構造部分、外装 | 上部構造部分、外装の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | iv) 屋根 | 屋根の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | v) 建築設備、内装等 | 建築設備・内装等の工事 ・有 ・無 ○手作業 ・手作業・機械作業の併用 | vi) その他() | その他の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | 特定建設資材廃棄物の種類 | 再資源化等をする施設の名称 | 所 在 地 | コンクリート | | | コンクリート及び鉄から成る建設資材 | | | 木材 | | | アスファルト・コンクリート | | |
| 工 程 | 作 業 内 容 | 分別解体等の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | i) 造成等、基礎ぐい | 造成等の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ii) 基礎 | 基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | iii) 上部構造部分、外装 | 上部構造部分、外装の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | iv) 屋根 | 屋根の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | v) 建築設備、内装等 | 建築設備・内装等の工事 ・有 ・無 ○手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | vi) その他() | その他の工事 ・有 ・無 ・手作業 ・手作業・機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定建設資材廃棄物の種類 | 再資源化等をする施設の名称 | 所 在 地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンクリート | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンクリート及び鉄から成る建設資材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アスファルト・コンクリート | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑥ 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策
2 足場等
[2.2.1] [表2.2.1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場 ・設置する(設置範囲 ・工事に必要な範囲 ・)
・設置しない
防護シート ・設置する(設置範囲 ・工事に必要な範囲 ・)
・設置しない
内部足場 ○設置する(※脚立、足場板等 ・) ・設置しない
材料、撤去材等の運搬方法
種別(・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種)
C種：利用可能なエレベーター ()
D種：利用可能な階段 ()
3 既存部分の養生
[2.3.1]
1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑦ 仮設間仕切り

1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・
2) 仮設間仕切りの種別と材質等

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑧ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑨ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑩ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑪ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑫ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑬ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑭ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑮ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑯ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑰ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑱ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

⑳ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

㉑ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

㉒ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

㉓ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

㉔ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

㉕ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・)
・保管場所(・図示 ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)
② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
[2.3.2] [表2.3.1]

| 種 別 | 仕 上 げ (厚さmm) | 塗 装 | 充 填 |
|-----------|--------------------------|------------|--------------------|
| ・A種 | ・せっこうボード(9.5mm) 種類() | ・片面 ・なし | グラスウール 厚さ() mm |
| | | | |
| ・B種 | ・合板(9.0mm) 材種() | | |
| ※C種 防災シート | | | |

3) 仮設間仕切り設ける仮設扉の材質等

| 材 質 | 仕 上 げ | 塗 装 | 設 置 箇 所 |
|----------|--------------|------------|---------|
| ※木製 ・ | ※合板張り程度 ・ | ・なし ・片面 | ・図示 |

㉖ 養生

1) 養生方法等
・既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板 ・)
・既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等 養生

3 浮き部改修工法

アンカーピンの材質
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
JIS A 5557Iに基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤 JIS A 5557Iに基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
・張付けモルタル(・現場調合材料・既調合モルタル)

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書 表4.5.1による
タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗塗りの接着力試験
・行う ・行わない

・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
タイル張りの工法
・外装タイル(・密着張り・改良圧着張り・改良積上げ張り)
・ユニットタイル(・マスク張り・モザイクタイル張り)
シーリング 改修特記仕様書 3章 防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
シーリングの種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による

4 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法 図示
シーリングは、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による

4.1.4][4.2.1][4.5.9～15]

5 タイルの形状、寸法等

工法の種類

アンカーピンの本数
(本/m2)

注入口の箇所数
(箇所/m2)

注入量
(mL/箇所)

一般部

指定部

一般部

指定部

・アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法

・アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法

・アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法

・注入口付アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法

・注入口付アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング
エポキシ樹脂注入タイル固定工法

・タイル部分張替え工法

・タイル張替え工法

※16

※25

—

—

※25

※13

※20

※12

※20

※25

※9

※16

—

—

※25

※9

※16

※9

※16

※25

※9

※16

※9

※16

※50

—

—

—

—

※25

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

施工箇所

形状寸法
(mm)

再生材
料の適
用

吸水率に
よる区分

うわぐすり

役物

色

耐凍
害性

耐滑
り性

備考

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

施
ゆ
う

無
ゆ
う

有

無

標
準

特
注

有

無

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

1 既存塗膜等の除去、
下地処理及び
下地調整

3 下地調整塗材

4 仕上塗材仕上げ

5 マスチック塗材
塗り

6 外壁用塗膜防水材
塗り

4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]

4.6.3]

4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

種 別 ・A種 ・B種

外壁用塗膜防水塗り
仕上の形状
外壁用仕上塗材の耐水性
※JIS A 6909の耐候形1種相当
下地挙動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない
吹付け工法の根拠材の種類 ・所要量 (kg/m2)
外壁用仕上塗料の種類 ・所要量 (kg/m2)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁
改修工事(コンクリート打ち放し仕上り外壁改修)による
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び汚損部の処理は、改修特記仕様書 4章
外壁改修工事(モルタル塗り仕上り外壁改修)による
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章 外壁改修
工事(塗仕上げ外壁等改修)による

2 既存塗膜等の除去、
下地処理及び
下地調整

3 下地調整塗材

4 仕上塗材仕上げ

5 マスチック塗材
塗り

6 外壁用塗膜防水材
塗り

4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]

4.6.3]

4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

種 別 ・A種 ・B種

外壁用塗膜防水塗り
仕上の形状
外壁用仕上塗材の耐水性
※JIS A 6909の耐候形1種相当
下地挙動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない
吹付け工法の根拠材の種類 ・所要量 (kg/m2)
外壁用仕上塗料の種類 ・所要量 (kg/m2)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁
改修工事(コンクリート打ち放し仕上り外壁改修)による
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び汚損部の処理は、改修特記仕様書 4章
外壁改修工事(モルタル塗り仕上り外壁改修)による
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章 外壁改修
工事(塗仕上げ外壁等改修)による

1 改修工法

2 防火戸

3 見本の製作等

4 防犯建物部品

5 アルミニウム製
建具

6 網戸等

7 樹脂製建具

8 鋼製建具

9 鋼製軽量建具

5.1.3]

5.1.4]

5.1.5]

5.1.7]

5.2.2～5][表 5.2.2]

5.2.3]

5.2.2][5.3.2～5]

5.2.2][5.4.2～4][表 5.4.2]

5.2.2][5.5.2～4]

性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具表による・)
・S-5(建具符号:・建具表による・)
・S-6(建具符号:・建具表による・)

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)
耐震ドア 面内変形追随性の等級(・)

鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による・ mm
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・)
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具表による・)
・S-5(建具符号:・建具表による・)
・S-6(建具符号:・建具表による・)

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)
耐震ドア 面内変形追随性の等級(・)

鋼板の種類 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による・ mm
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材

10 ステンレス製
建具

11 建具用金物

12 鍵

13 自動ドア開閉装置

14 自閉式上吊り引戸
装置

15 重量シャッター

16 軽量シャッター

17 オーバーヘッド
ドア

5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]

5.7.2、3]

5.7.4]

5.8.2、3]

5.9.3]

5.10.2、3]

5.11.2～4]

5.12.2、3]

性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具表による・)
・S-5(建具符号:・建具表による・)
・S-6(建具符号:・建具表による・)

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)
耐震ドア 面内変形追随性の等級(・)

ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書 表5.7.1により適用は建具表による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書 表5.7.2による ・建具表による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書 表5.7.3による ・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
○平面図による

・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本錠り錠】
品質 工事建築材料等品質性能表による
性能 工事建築材料等品質性能表による
試験方法 工事建築材料等品質性能表による
・錠前類 【レバーハンドル】
性能 工事建築材料等品質性能表による
試験方法 工事建築材料等品質性能表による
・クローザ類
品質・性能 工事建築材料等品質性能表による
試験方法 工事建築材料等品質性能表による

マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる
その他の錠の製作本数 ※各室3本1組
錠箱 ・無 ・有
鋼製 ・10 ・20 ・30 ・60 ・120 ・200本用

引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書 表5.8.5による 種類()
多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書 表5.8.6による
引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書 表5.8.3による
戸の開閉方式
・建具表による
引き戸用検出装置の種類
※標準仕様書 表5.8.4による 種類() ・建具表による
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

性能値等 ※標準仕様書 表5.9.1による
試験方法 建築材料等品質

⑤

建具改修工事

18 ガラス

フロート板ガラス
品種及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

型板ガラス
厚さによる種類
※建具表による

網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス
・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅱ－Ⅰ類
・Ⅱ－Ⅱ類
・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
性能による種類
・Ⅰ種
・Ⅱ種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による
断熱性による区分
・TⅠ
・TⅡ
・TⅢ
・TⅣ
・TⅤ
・TⅥ
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G
・S
乾燥気体の種類
・空気
・アルゴン

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
日射熱遮へい性による区分
・Ⅰ種
・Ⅱ種
・Ⅲ種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類
・B類
映像調整
・行わない
・行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

| 建具の種類 | ガラス留め材 | ガラス溝の大きさ(mm) |
|----------|------------------------------------|----------------------|
| アルミニウム製 | ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 | ※建具の製造所の仕様による ・図示 |
| 鋼製及び鋼製軽量 | ・シーリング材 | ※建具の製造所の仕様による ・図示 |
| ステンレス製 | ・シーリング材 | ※建具の製造所の仕様による ・図示 |

[5. 13. 5]

| 表面形状 | 呼び寸法 | 厚さ | 色調カ77乳白 | 目地幅(mm)平積み | 伸縮調整目地位置(mm)曲面積み | 防火性能 |
|------|----------|-----|---------|------------|---------------------|------------|
| ・正方形 | ・125×125 | ・80 | ・ | ・※8～15 | 外側 ※15以下 内側 ※6以上 | ※無し ・有り |
| | ・160×160 | ・95 | ・ | ・15～25 | | |
| | ・200×200 | ・95 | ・ | | | |
| | ・320×320 | ・95 | ・ | | | |
| ・長方形 | ・250×125 | ・80 | ・ | | | |
| | ・320×160 | ・95 | ・ | | | |

20 ガラス用フィルム

| 種 類 | 記号 | | 性 能 等 |
|--------------------|-------|-------|---|
| | 内貼り用 | 外貼り用 | |
| ・日射調整フィルム | ・SC－Ⅰ | ・SC－Ⅱ | 日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E |
| ・低放射フィルム | ・LE | | 熱貫流率による区分 ・A ・B ・C ・D |
| ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム | ・GI－Ⅰ | ・GI－Ⅱ | |
| ・ | | | |
| 品質 JIS A 5759による。 | | | |

⑥

内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま
・図示

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※図示 ○ 改修か所の室内

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

「製材の日本農林規格」による地下用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|--------|------|---------|
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---------|----|--------|-------|----|--------|------|---------|
| 見え掛り面 | | | ※上小節 | | ※A種・B種 | | ・ |
| 見え掛り面以外 | | | ※小節以上 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|------------------|------|---------|
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」以外の製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|------------------------------|-----------------|--------|---------|
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | ・ |
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「集材材の日本農林規格」による造作用集成材

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|------|-----|--------|----------|---------|
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|--------------|-----|--------|-------------|----------|---------|
| 化粧薄板： 芯材： | | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |
| 化粧薄板： 芯材： | | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |

「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 | 間伐材等の適用 |
|------|-----|--------|----------|--------|---------|
| | | | | ※15%以下 | ・ |
| | | | | ※15%以下 | ・ |

7 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------------------------------|-----------------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ・適用する ・適用しない | ・ |

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 含水率 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------------------------------|--------|-----------------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ※14%以下 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ※14%以下 | ・適用する ・適用しない | ・ |

「CLT（直交集成板）」

| 施工箇所 | 品名 | 曲げ性能(強度等級) | 種別 | 接着性能使用環境 | 樹種 | 寸法(mm) | 間伐材等の適用 |
|------|----|------------|----|----------|----|--------|---------|
| | | | | | | | ・ |
| | | | | | | | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「普通合板」

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|------------|---------------------------------|-----------------|---------|
| | ※5. 5 | | ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 | ・広葉樹 ※2等以上 ・針葉樹 ※C-D以上 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | | |

「構造用合板」

| 施工箇所 | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 厚さ(mm) | 防虫処理 | 強度等級 | 間伐材等の適用 |
|------|--------------|--------|------------|-------------|----------|-----------------|-----------------|---------|
| | ※2級以上 ・Ⅰ級 | | ※Ⅰ類 ・特類 | ※C-D以上 ・ | ※12 ・ | ・適用する ・適用しない | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | | | | |

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|--------|------|---------|
| | | | ・Ⅰ類・特類 | | ・ |
| | | | | | |

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 防虫処理の適用 |
|------|----------------|--------|--------|----------|
| | | | ・Ⅰ類・Ⅱ類 | ・適用する() |
| | | | | |

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 表面性能 | 化粧加工の方法 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|------|---------|----------|---------|
| | | ・Ⅰ類・Ⅱ類 | | | ・適用する() | ・ |
| | | | | | | |

「パーティクルボード」

| 施工箇所 | 裏表面の状態による区分 | 曲げ強度による区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
|------|-------------|-----------|----------|----------|--------|
| | | ※13タイプ | ※P又はM | | ※15 |
| | | | | | ・ |

⑦

外装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま
・図示

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※図示 ○ 改修か所の室内

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

「製材の日本農林規格」による地下用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|--------|------|---------|
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---------|----|--------|-------|----|--------|------|---------|
| 見え掛り面 | | | ※上小節 | | ※A種・B種 | | ・ |
| 見え掛り面以外 | | | ※小節以上 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|------------------|------|---------|
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」以外の製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|------------------------------|-----------------|--------|------|---------|
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「集材材の日本農林規格」による造作用集成材

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|------|-----|--------|----------|---------|
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------------------------------|-----------------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ・適用する ・適用しない | ・ |

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 含水率 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------------------------------|--------|-----------------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ※14%以下 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ※14%以下 | ・適用する ・適用しない | ・ |

「CLT（直交集成板）」

| 施工箇所 | 品名 | 曲げ性能(強度等級) | 種別 | 接着性能使用環境 | 樹種 | 寸法(mm) | 間伐材等の適用 |
|------|----|------------|----|----------|----|--------|---------|
| | | | | | | | ・ |
| | | | | | | | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「普通合板」

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|------------|---------------------------------|-----------------|---------|
| | ※5. 5 | | ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 | ・広葉樹 ※2等以上 ・針葉樹 ※C-D以上 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | | |

「構造用合板」

| 施工箇所 | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 厚さ(mm) | 防虫処理 | 強度等級 | 間伐材等の適用 |
|------|--------------|--------|------------|-------------|----------|-----------------|-----------------|---------|
| | ※2級以上 ・Ⅰ級 | | ※Ⅰ類 ・特類 | ※C-D以上 ・ | ※12 ・ | ・適用する ・適用しない | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | | | | |

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|--------|------|---------|
| | | | ・Ⅰ類・特類 | | ・ |
| | | | | | |

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 防虫処理の適用 |
|------|----------------|--------|--------|----------|
| | | | ・Ⅰ類・Ⅱ類 | ・適用する() |
| | | | | |

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 表面性能 | 化粧加工の方法 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|------|---------|----------|---------|
| | | ・Ⅰ類・Ⅱ類 | | | ・適用する() | ・ |
| | | | | | | |

「パーティクルボード」

| 施工箇所 | 裏表面の状態による区分 | 曲げ強度による区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
|------|-------------|-----------|----------|----------|--------|
| | | ※13タイプ | ※P又はM | | ※15 |
| | | | | | ・ |

⑧

内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま
・図示

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※図示 ○ 改修か所の室内

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

「製材の日本農林規格」による地下用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|--------|------|---------|
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---------|----|--------|-------|----|--------|------|---------|
| 見え掛り面 | | | ※上小節 | | ※A種・B種 | | ・ |
| 見え掛り面以外 | | | ※小節以上 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|------------------|------|---------|
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」以外の製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|------------------------------|-----------------|--------|------|---------|
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「集材材の日本農林規格」による造作用集成材

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|------|-----|--------|----------|---------|
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------------------------------|-----------------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ・適用する ・適用しない | ・ |

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 含水率 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------------------------------|--------|-----------------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ※14%以下 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し() | ※14%以下 | ・適用する ・適用しない | ・ |

「CLT（直交集成板）」

| 施工箇所 | 品名 | 曲げ性能(強度等級) | 種別 | 接着性能使用環境 | 樹種 | 寸法(mm) | 間伐材等の適用 |
|------|----|------------|----|----------|----|--------|---------|
| | | | | | | | ・ |
| | | | | | | | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「普通合板」

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|------------|---------------------------------|-----------------|---------|
| | ※5. 5 | | ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 | ・広葉樹 ※2等以上 ・針葉樹 ※C-D以上 | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | | |

「構造用合板」

| 施工箇所 | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 厚さ(mm) | 防虫処理 | 強度等級 | 間伐材等の適用 |
|------|--------------|--------|------------|-------------|----------|-----------------|-----------------|---------|
| | ※2級以上 ・Ⅰ級 | | ※Ⅰ類 ・特類 | ※C-D以上 ・ | ※12 ・ | ・適用する ・適用しない | ・適用する ・適用しない | ・ |
| | | | | | | | | |

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|--------|------|---------|
| | | | ・Ⅰ類・特類 | | ・ |
| | | | | | |

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 防虫処理の適用 |
|------|----------------|--------|--------|----------|
| | | | ・Ⅰ類・Ⅱ類 | ・適用する() |
| | | | | |

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 表面性能 | 化粧加工の方法 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|------|---------|----------|---------|
| | | ・Ⅰ類・Ⅱ類 | | | ・適用する() | ・ |
| | | | | | | |

「パーティクルボード」

| 施工箇所 | 裏表面の状態による区分 | 曲げ強度による区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
|------|-------------|-----------|----------|----------|--------|
| | | ※13タイプ | ※P又はM | | ※15 |
| | | | | | ・ |

⑨

外装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま
・図示

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※図示 ○ 改修か所の室内

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 4. 9)によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

「製材の日本農林規格」による地下用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|--------|------|---------|
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅱ級 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|---------|----|--------|-------|----|--------|------|---------|
| 見え掛り面 | | | ※上小節 | | ※A種・B種 | | ・ |
| 見え掛り面以外 | | | ※小節以上 | | ※A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|-----|----|------------------|------|---------|
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |
| | | | ※Ⅰ等 | | ※10%以下 ・A種・B種 | | ・ |

「製材の日本農林規格」以外の製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法(mm) | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 | 保存処理 | 間伐材等の適用 |
|------|----|--------|------------------------------|-----------------|--------|------|---------|
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | | ・ |
| | | | (造作材の場合 (※A種・B種)) | ・適用する ・適用しない | ※A種・B種 | | ・ |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「集材材の日本農林規格」による造作用集成材

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|------|-----|--------|----------|---------|
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |
| | | | ※Ⅰ等・Ⅱ等 | ・ |

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表面の品質 | 防虫処理 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|-----------------------------|------|---------|
| | | ・有り(・天然木加工 ・塗装加工) ・無し | | |

⑥

内装改修工事

15

特殊機能床

[6.8.2]

・帯電防止床シート

種類（ ）
性能（ ）
厚さ（ ）mm

・帯電防止床タイル

種類（ ）
性能（ ）
寸法（ × ）mm 厚さ（ ）mm

・視覚障害者誘導用床タイル

視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による

種類（ ）
形状（ ）

・耐動荷重性床シート

種類（ ）
厚さ（ ）mm

・防滑性床シート

種類（ ）
厚さ（ ）mm

・防滑性床タイル

種類（ ）
寸法（ × ）mm 厚さ（ ）mm

16

ビニル幅木

[6.8.2]

17

ゴム床タイル

[6.8.2]

18

カーペット敷き

[6.9.2、3] [表6.9.1]

19

合成樹脂塗床

[6.10.2～3]

⑥

内装改修工事

20

フローリング張り

[6.11.2～6]

21

畳敷き

[6.12.2]

22

せっこうボード
その他のボード
及び合板張り

[6.13.2、3]

23

壁紙張り

[6.14.2～3]

24

天井見切り縁

25

モルタル塗り

[6.15.3、5、6]

⑥

内装改修工事

26

タイル張り

[6.16.2～4]

27

セルフレベリング材
塗り

[6.17.2、3]

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

3

錆止め塗料塗り

④

塗装

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

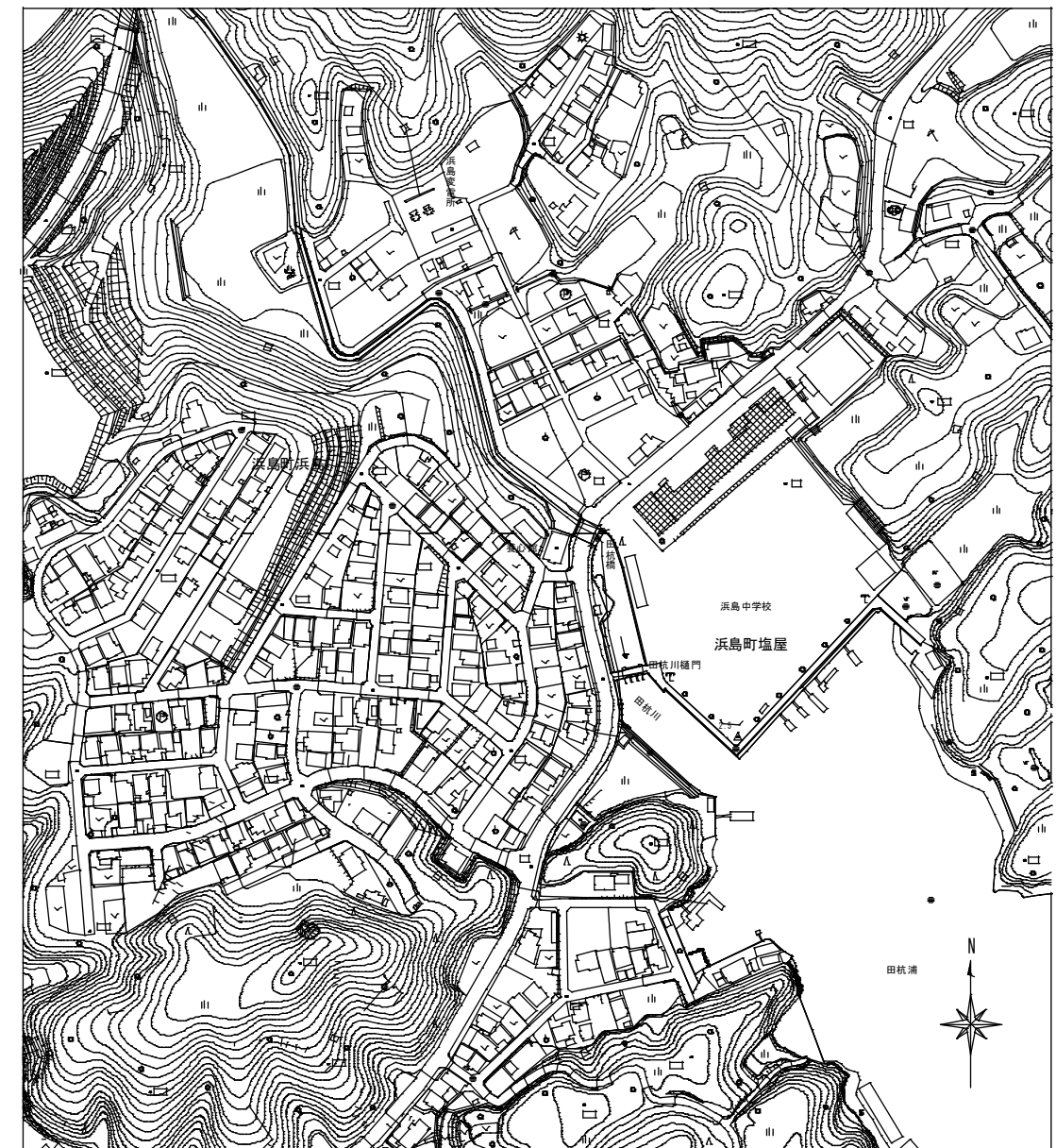
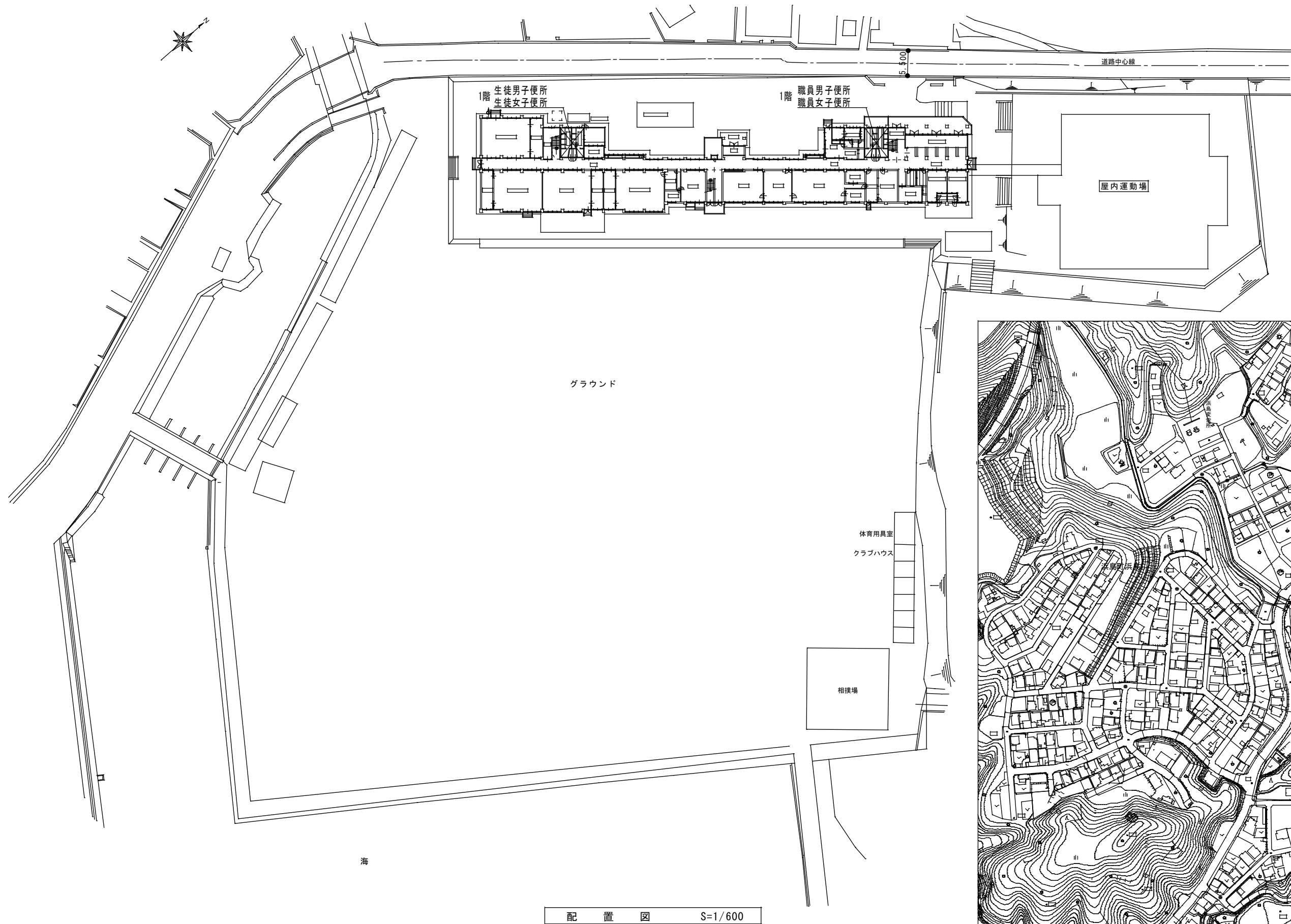
3

錆止め塗料塗り


④

塗装

⑦</

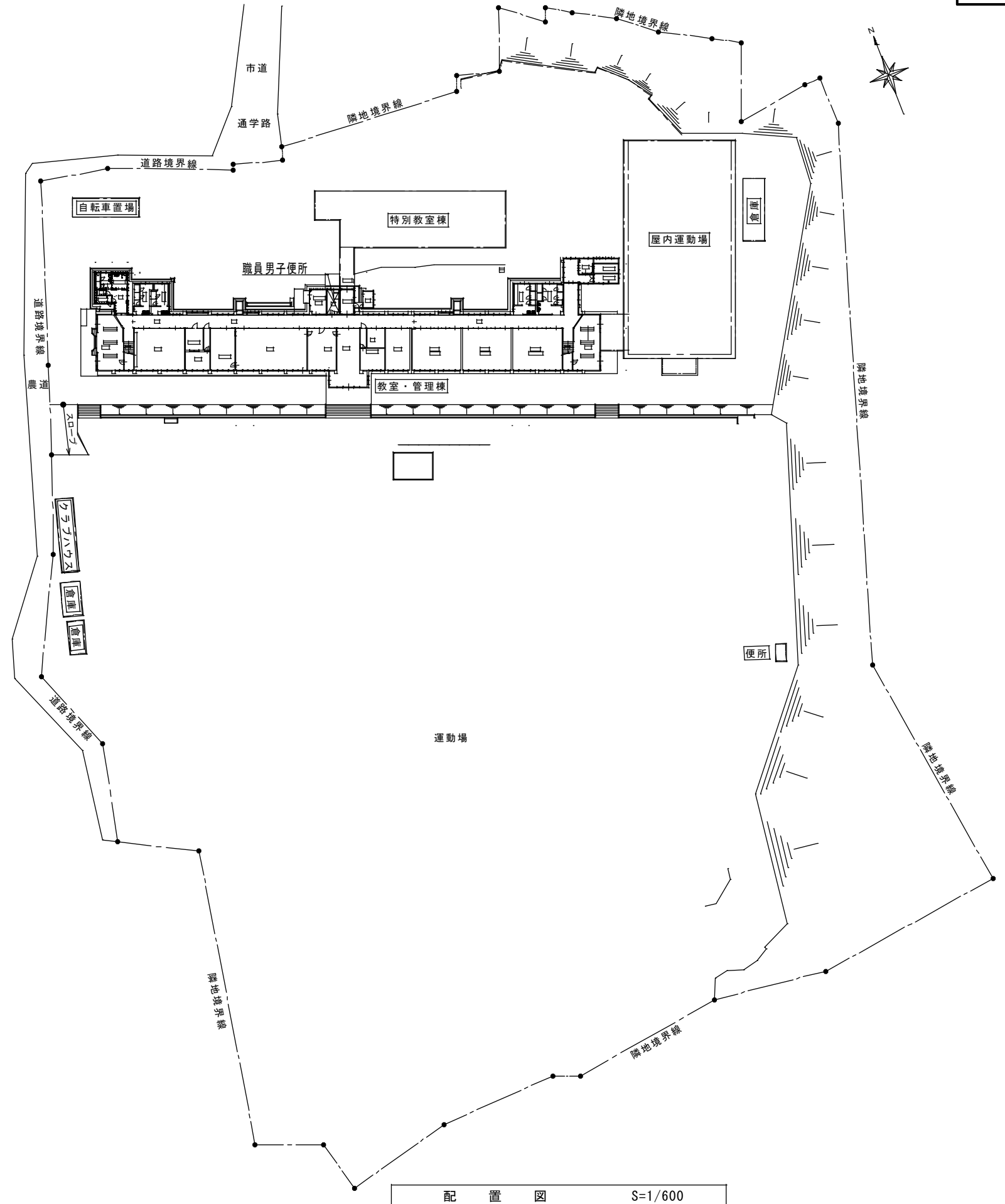


付近見取図 S=1/2500


| | | | | | | | |
|------|--|-------------------------------|-------------|-------------|--|--------------------------------------|-----------------|
| 整理番号 | | 工事名 令和3年度 浜島中学校他トイレ改修工事 | 図名 | 縮尺 |  一級建築士事務所 三重県知事登録第1-1789号 瀧 鼻 設 計 事 務 所 〒517-0503 三重県志摩市阿児町立神3055-1 電話 (0599) 45-2188番 | 一級建築士 大臣登録第284718号 瀧 鼻 健 一 | 図面No. A - 06 |
| | | | 配 置 図 (浜島中) | A2:1/600 | | | |
| | | | | A3:A2×70.7% | | | |
| | | | | | | | |

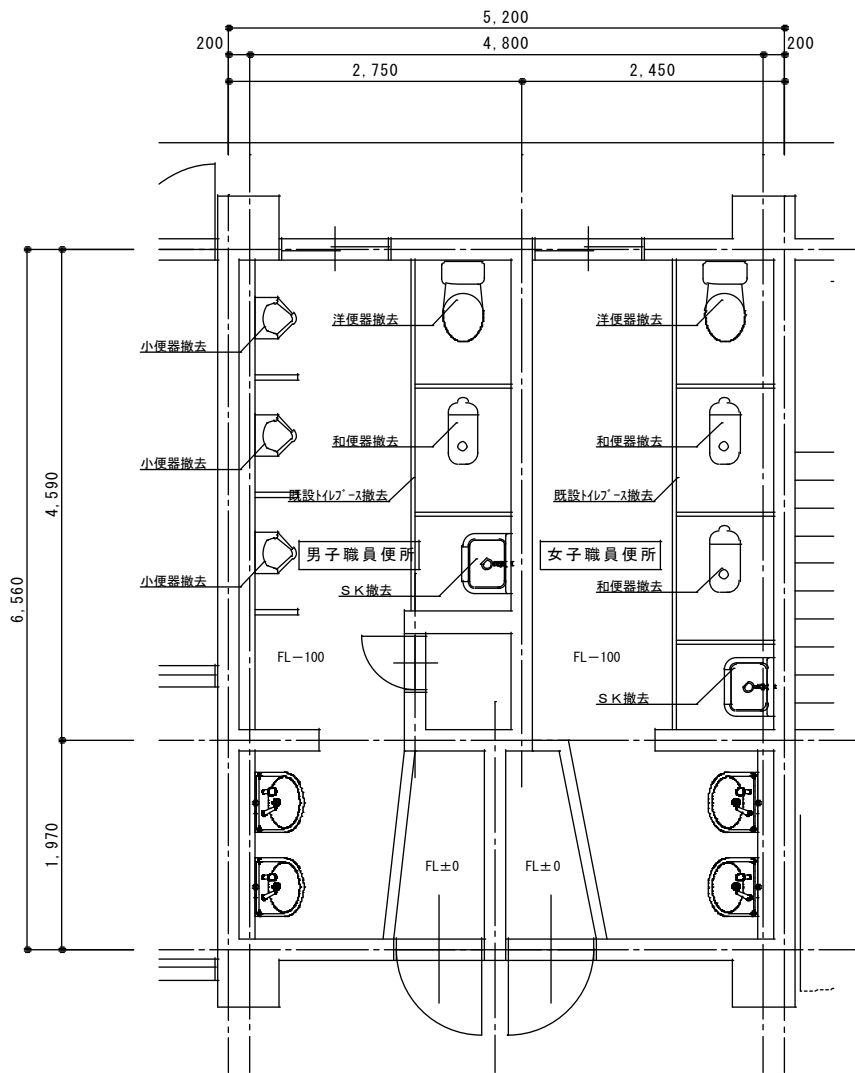


付近見取図 S=1/2500

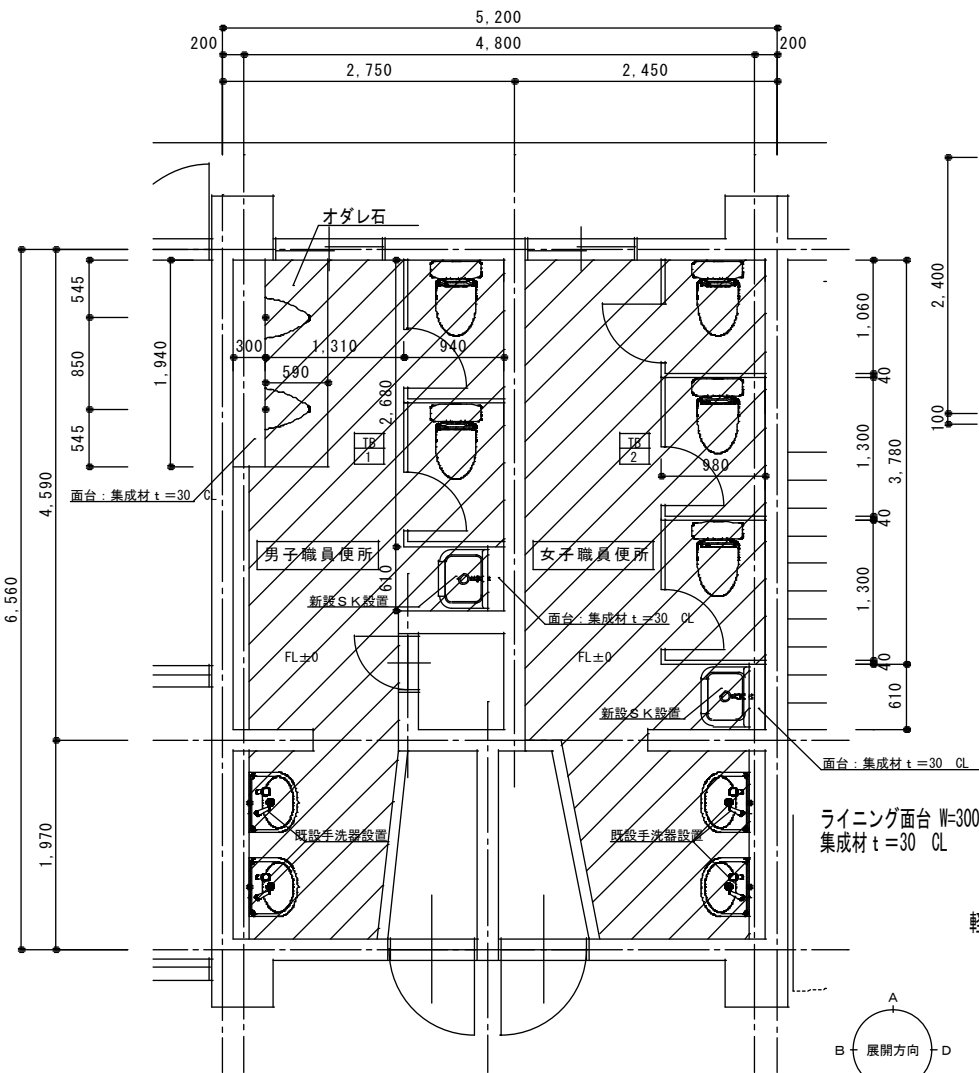


配置図 S=1/600

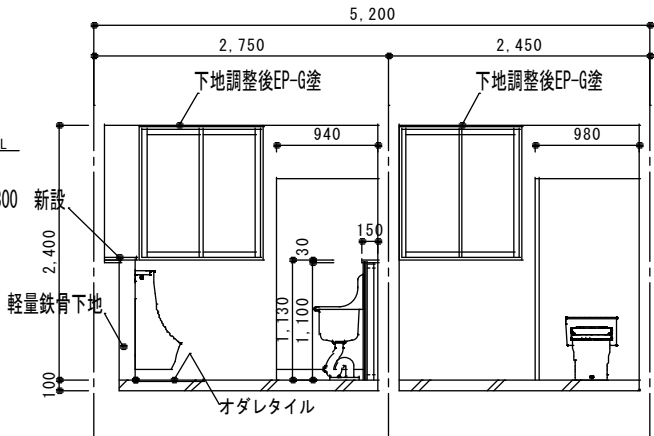
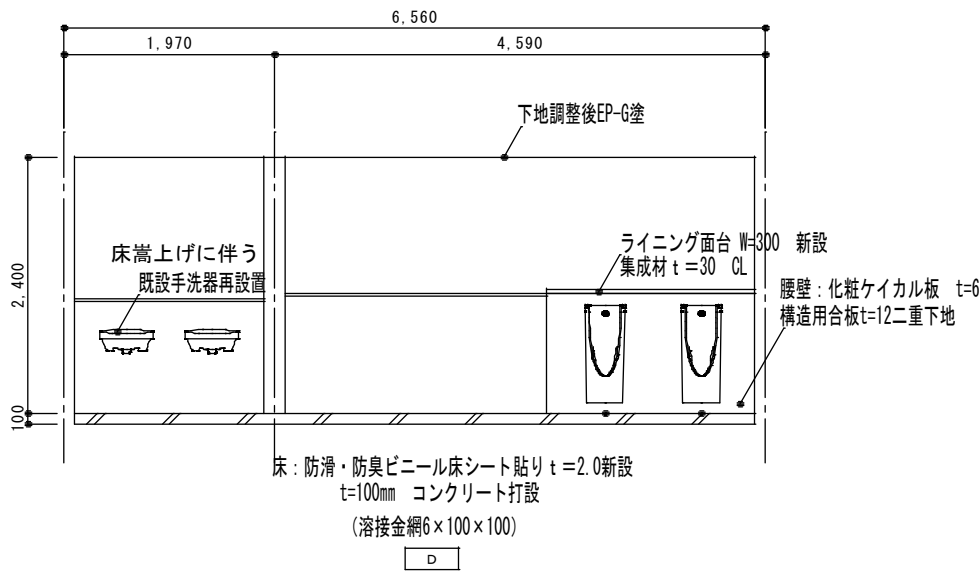
| | | | | | | | |
|------|--|-------------------------------|-------------|-------------|--|--------------------------------------|---------------|
| 整理番号 | | 工事名 令和3年度 浜島中学校他トイレ改修工事 | 図名 | 縮尺 |  一級建築士事務所 三重県知事登録第1-1789号 瀧 鼻 設 計 事 務 所 〒517-0503 三重県志摩市阿児町立神3055-1 電話 (0599) 45-2188番 | 一級建築士 大臣登録第284718号 瀧 鼻 健 一 | 図面No. A-07 |
| | | | 配 置 図 (大王巾) | A2:1/600 | | | |
| | | | | A3:A2×70.7% | | | |
| | | | | | | | |



改修前 1階職員便所平面詳細図 1/50



改修後 1階職員便所平面詳細図 1/50



床：防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設
t=100mm コンクリート打設
(溶接金網6×100×100)

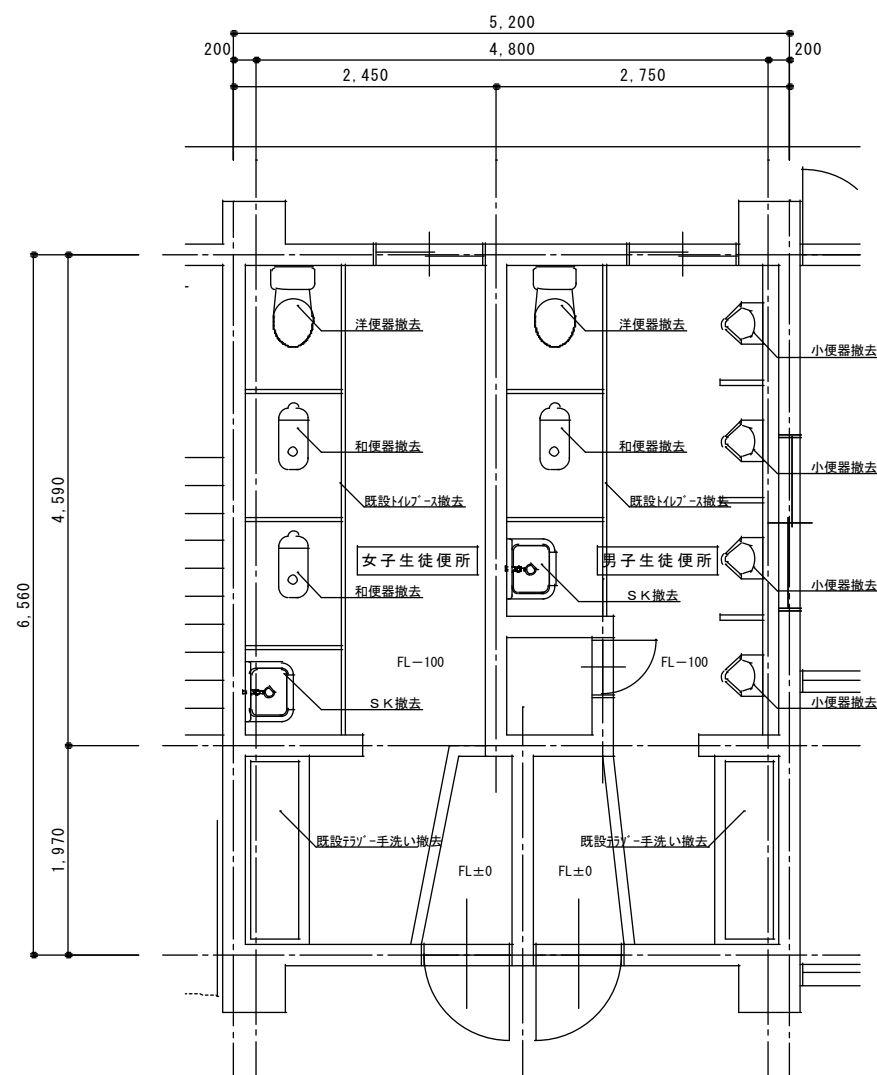
A

| 男子便所 CH=2,500 | |
|---------------|--------------|
| 床 | 磁器質モザイクタイル張り |
| 巾木 | 100角タイル張り |
| 壁 | 100角タイル張り |
| 天井 | プラスターボード貼り |

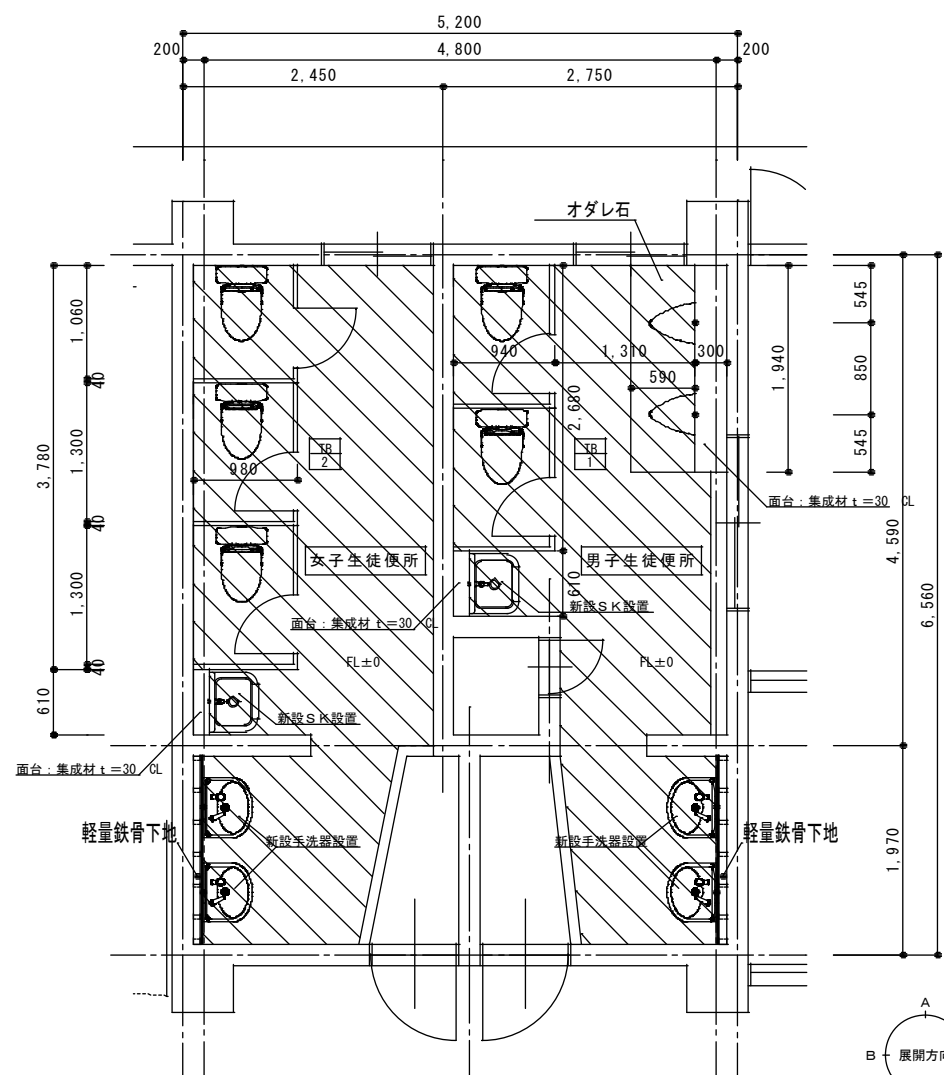
| 男子便所 CH=2,500 | |
|---------------|--------------|
| 床 | 磁器質モザイクタイル張り |
| 巾木 | 100角タイル張り |
| 壁 | 100角タイル張り |
| 天井 | プラスターボード貼り |

| 室名 | 男子職員便所 CH=2,400 |
|----|---|
| 床 | 防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設 コンクリート t=100張物下地(溶接金網6×100×100) |
| 巾木 | 面台面：防滑・防臭ビニール床シート巻上げ貼り t=2.0新設 7㍓に見切 |
| 壁 | 小便器面：軽量鉄骨壁+コンパ ㍻2重張り下地化粧ケイカル板張り その他面：既設のまま 一部補修 |
| 廻縁 | 既設のまま |
| 天井 | 下地調整 (RC種) 後EP-G 一部貼替 |
| 備考 | ライニング面台 W=150、300 オダレ石 入口ドアハンドル取替：7㍓フラットバー t=4×150、取手 |

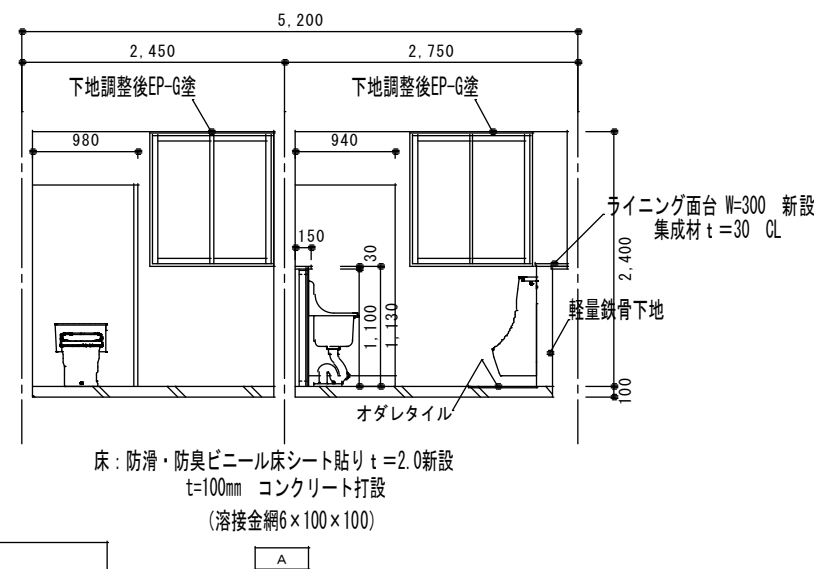
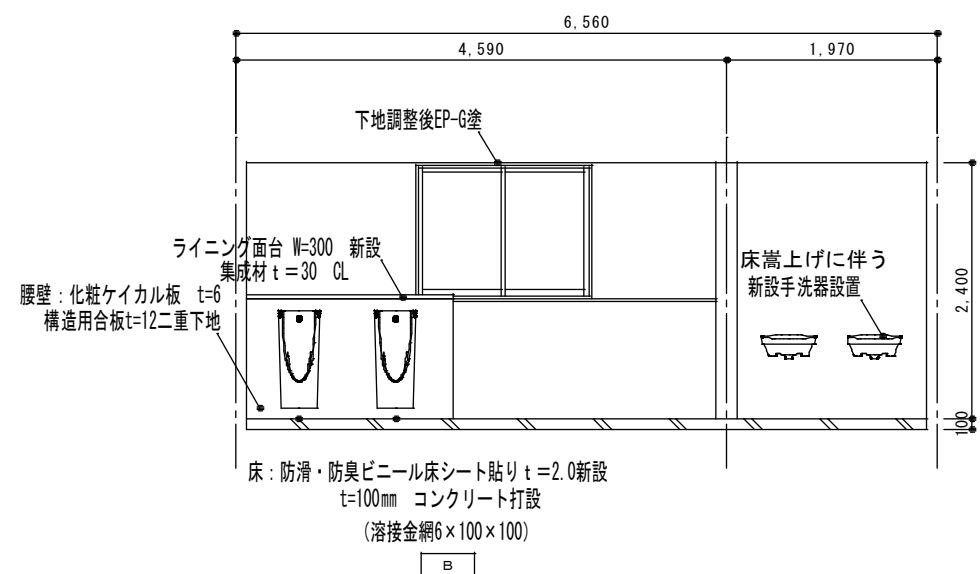
| 室名 | 女子職員便所 CH=2,400 |
|----|--|
| 床 | 防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設 コンクリート t=100張物下地(溶接金網6×100×100) |
| 巾木 | 面台面：防滑・防臭ビニール床シート巻上げ貼り t=2.0新設 7㍓に見切 |
| 壁 | 既設のまま 一部補修 |
| 廻縁 | 既設のまま |
| 天井 | 下地調整 (RC種) 後EP-G 一部貼替 |
| 備考 | ライニング面台 W=150、 入口ドアハンドル取替：7㍓フラットバー t=4×150、取手 |



改修前 1階生徒便所平面詳細図 1/50



改修後 1階生徒便所平面詳細図 1/50

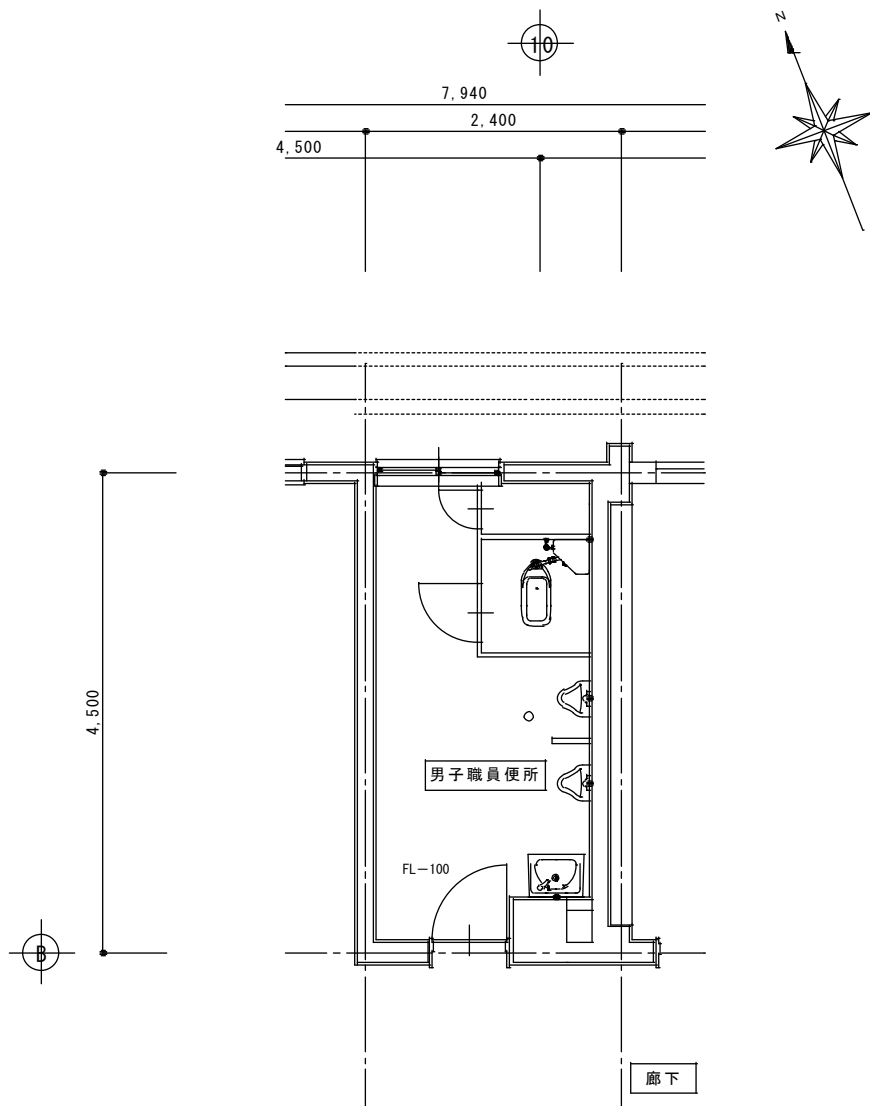


| | | |
|------|--------------|-----------|
| 女子便所 | | CH=2, 500 |
| 床 | 磁器質モザイクタイル張り | |
| 巾木 | 100角タイル張り | |
| 壁 | 100角タイル張り | |
| 天井 | プラスターボード貼り | |

| | | |
|------|--------------|-----------|
| 男子便所 | | CH=2, 500 |
| 床 | 磁器質モザイクタイル張り | |
| 巾木 | 100角タイル張り | |
| 壁 | 100角タイル張り | |
| 天井 | プラスターボード貼り | |

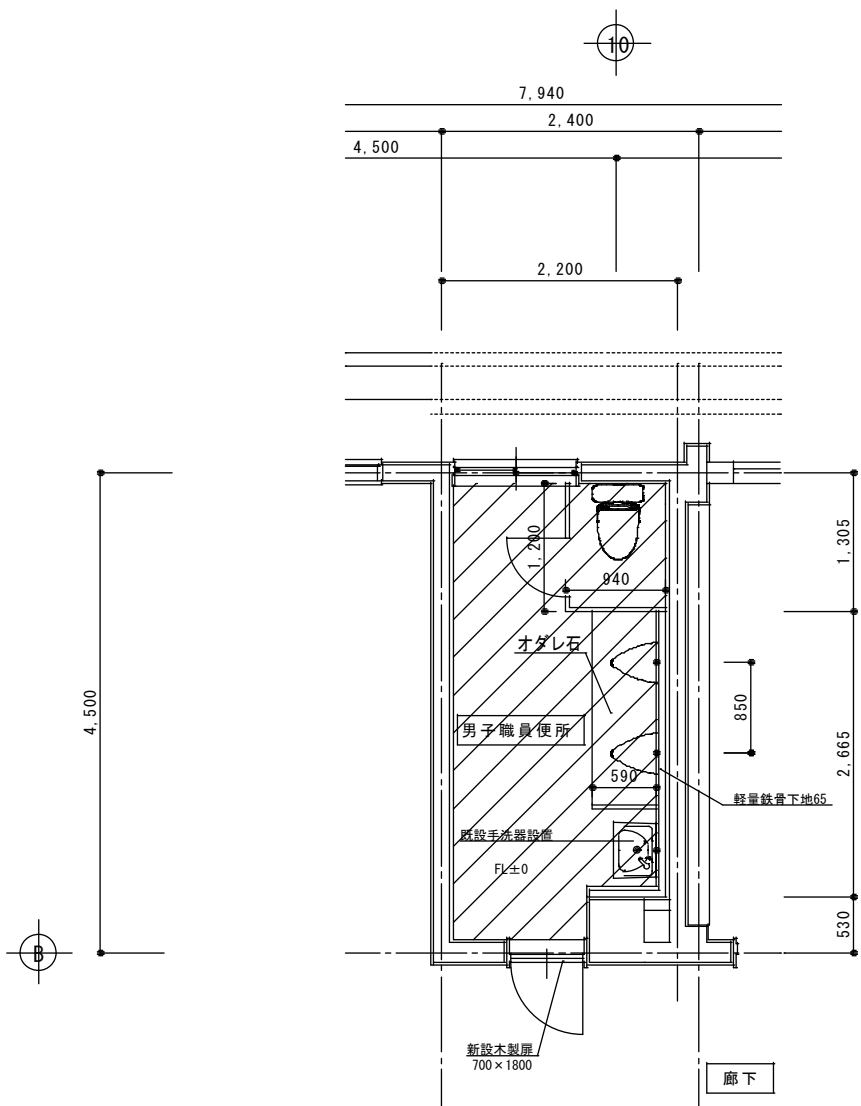
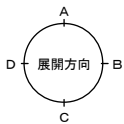
| | | |
|----|--|-----------|
| 室名 | 女子生徒便所 | CH=2, 400 |
| 床 | 防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設 コンクリート t=100張物下地(溶接金網6×100×100) | |
| 巾木 | 面台面：防滑・防臭ビニール床シート巻上げ貼り t=2.0新設 | 7㍓に見切 |
| 壁 | 既設のまま 一部補修 | |
| 廻縁 | 既設のまま | |
| 天井 | 下地調整 (RC種) 後 E P-G | 一部貼替 |
| 備考 | ライニング面台 W=150、 入口ドアハンドル取替：7㍓にフラットバー t=4×150、取手 | |

| | | |
|----|---|-----------|
| 室名 | 男子生徒便所 | CH=2, 400 |
| 床 | 防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設 コンクリート t=100張物下地(溶接金網6×100×100) | |
| 巾木 | 台面面：防滑・防臭ビニール床シート巻上げ貼り t=2.0新設 7/8見切 | |
| 壁 | 小便器面：軽量鉄骨壁+コンパネ2重張り下地化粧ケイカル板張り その他面：既設のまま 一部補修 | |
| 廻縁 | 既設のまま | |
| 天井 | 下地調整(RC種) 後EP-G 一部貼替 | |
| 備考 | ライニング台面 W=150, 300 オダレ石 入口ドアハンドル取替：7/8フラットバー t=4×150、取手 | |



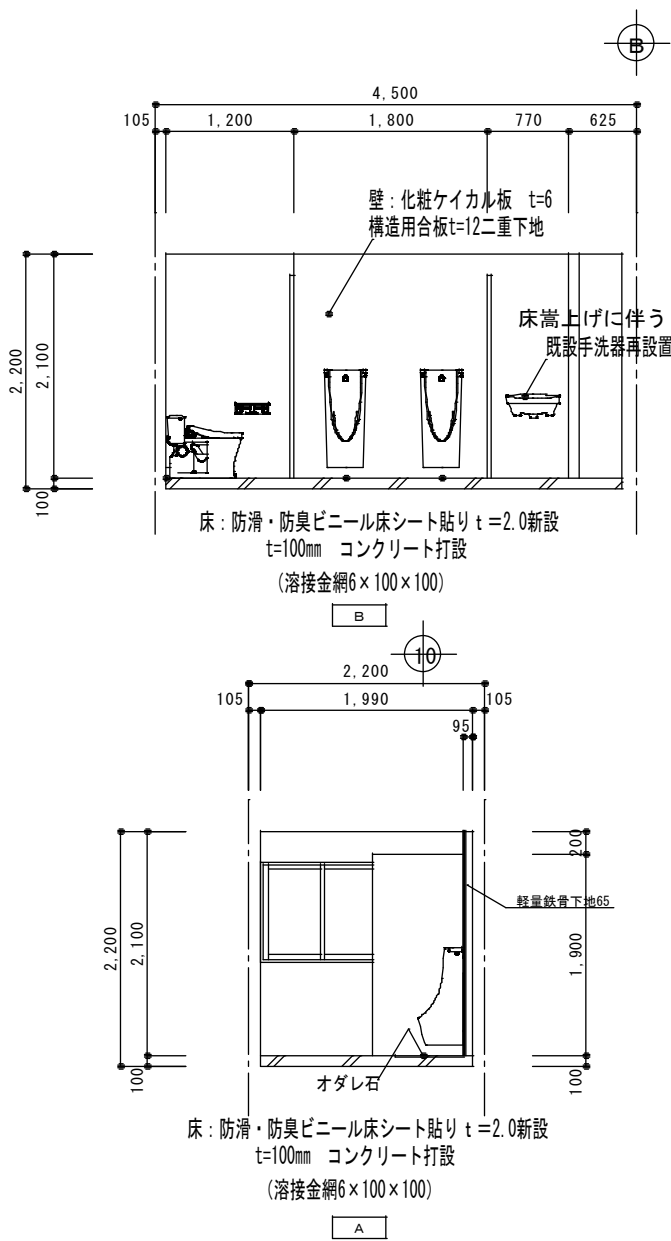
改修前 1階男子職員便所平面詳細図 1/50

| 男子便所 CH=2,200 | |
|---------------|--------------|
| 床 | 磁器質モザイクタイル張り |
| 巾木 | 100角タイル張り |
| 壁 | 100角タイル張り |
| 天井 | プラスターボード貼り |



改修後 1階男子職員便所平面詳細図 1/50

| 室名 | 男子職員便所 CH=2,100 |
|----|--|
| 床 | 防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設 コンクリート t=100張物下地(溶接金網6×100×100) |
| 巾木 | 小便器面：防滑・防臭ビニール床シート巻上げ貼り t=2.0新設 7ㄴ見切 |
| 壁 | 小便器面：軽量鉄骨壁+ｺﾝﾊﾞﾙ2重張り下地化粧ケイカル板張り その他面：既設のまま 一部補修 |
| 廻縁 | 既設のまま |
| 天井 | 下地調整 (RC種) 後EP-G 一部貼替 |
| 備考 | オダレ石 新設木製扉 入口ドアハンドル：7ㄴﾌﾗｯｸﾄｰ t=4×150、取手 |



床：防滑・防臭ビニール床シート貼り t=2.0新設
t=100mm コンクリート打設
(溶接金網6×100×100)

A

令和3年度 浜島中学校他トイレ改修工事

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 志摩市 浜島町・大王町 地内

2. 建物概要

| 建物名称 | 構造及び階数 | 国：延面積 | 建：延面積 | 消法令の適用 | 備 考 |
|-------|---------|-------|-------|------------|-----|
| 浜島中学校 | RC- 3 階 | | | 別表第一 (7) 項 | |
| 大王中学校 | RC- 3 階 | | | 別表第一 (7) 項 | |
| | | | | | |

国:国有財産法延面積 (㎡) 建:建築基準法延面積 (㎡)

3. 工事種目（○印の付いたものが対象工事種目）

| 工事 項目 | 建 物 別 | | 工 事 種 別 | | 備 考 |
|---------------|-----------|-----------|---------|--|-----|
| | 別 高 中 学 校 | 大 王 中 学 校 | | | |
| ○ 電灯設備 | ○ | ○ | | | |
| ・ 動力設備 | | | | | |
| ・ 電気自動車充電設備 | | | | | |
| ・ 電熱設備 | | | | | |
| ・ 音保護設備 | | | | | |
| ・ 受変電設備 | | | | | |
| ・ 電力貯蔵設備 | | | | | |
| ・ 発電設備 | | | | | |
| ・ 構内情報通信網設備 | | | | | |
| ・ 構内交換設備 | | | | | |
| ・ 情報表示設備 | | | | | |
| ・ 映像、音響設備 | | | | | |
| ・ 拡声設備 | | | | | |
| ・ 誘導支援設備 | | | | | |
| ・ テレビ共同受信設備 | | | | | |
| ・ 監視カメラ設備 | | | | | |
| ・ 駐車場管制設備 | | | | | |
| ・ 防犯・入退室管理設備 | | | | | |
| ○ 火災報知設備 | ○ | ○ | | | |
| ・ 中央監視制御設備 | | | | | |
| ・ 構内配電線路 | | | | | |
| ・ 構内通信線路 | | | | | |
| ・ テレビ電波障害防除設備 | | | | | |
| ・ 建築工事 | 別図による | | | | |
| ・ 機械設備工事 | 別図による | | | | |

4. 指定部分 ・ 無 ・ 有 対象部分

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、〇印が付いたものを適用する。
- ① 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）
 - ② 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
 - ③ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「標準図」という。）

- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

- 特記仕様
- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

- (3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全措置を講じなければならない。上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）の規定による。

| 条 項 | 目 | 特 記 事 項 |
|-----|-------------|---|
| ● | ① 環境への配慮 | <p>1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づき、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」（以下グリーン購入法基本方針）に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。</p> <p>2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 含鉛、含汞系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジオーノール樹脂及びフタル酸ジエーニールエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が追加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、装飾台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 <p>3) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同分第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 |
| ● | ② 材料・機材の品質等 | <p>1) 本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 別表-1に機材名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。</p> <p>ただし、次の①から⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 |

③

足場その他

・別契約の関係受注者(下請け工事の場合は無償付)が定置したものは無償で使用できる。

・本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2.2(2)の手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。改修標準仕様書第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。

○内部足場 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種)

・外部足場 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種)

④

施工図等

工事が完成(指定部分に係わる完成を除く)したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原図及び複写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等と原図として提出ができないものは、原図に代わるものとしてよい。

なお、施工図等の著作権に係る該当建築物に限定使用権は、発注者に移譲する。

機器製作図 一式、 制御システム図 一式

試験成績書 一式、 機器・配管固定の施工図 一式

⑤

電源周波数

60 Hz ・ 50 Hz

6

耐震措置

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

1) 設計用水平地震力

機器の重量 [kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

| 設置場所 | 機器種別 | ・ 特定の施設 | | ・ 一般の施設 | |
|-------|---------|---------|------|---------|------|
| | | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階 | 機器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振支持の機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水 槽 類 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水 槽 類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| 地下・1階 | 機器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水 槽 類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

・水槽類には燃料小出槽を含む。

・重要機器は次のものを示す。

・配電盤

・自家発電装置

・直流電源装置

・交流無停電電源装置

・交換装置

・自動火災報知受信機

・中央監視制御装置

・総合盤

・放送架

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑦

他工事又は他工種との取合い

図面に特記無き場合は、次表の「工事区分表」による。

「工事区分表」

| 他工事又は他工種との取合い | | 電気工事 | 機械設備工事 | 建築工事 | E/V工事 |
|--------------------------------|---|-------------|--------|------|-------|
| 配 | 屋・床・壁装飾部 | 補修 | | ○ | |
| | 通分電管・端子盤・プルボックス | スリーブ・管径 | ○ | | |
| | | 補修 | | | ○ |
| ロ | 軽重教育地下天井・壁ボードの切込 | 補修時の場合(補修済) | ○ | | |
| | | 補修時の場合 | | | ○ |
| 部 | 床デッキプレート | 切込 | ○ | | |
| | 既設管柱位置の不整合及びその取付 | ○ | | | |
| 基礎等 | 竣工図の設備機器の基礎 | ○ | | | |
| | 大気汚染防止の基礎 | | | ○ | |
| | 防火壁に設置する基礎 | | | ○ | |
| | 上記以外の機器の基礎 | ○ | | | |
| | 要否、アンカーボルト | ○ | | | |
| | 配管ピット及び重 | | | | ○ |
| | 自立脚設置を要する防火戸の切込・補修及びドア・7027 | | | | ○ |
| | 照明器具・特殊等の吊り具・吊り具のサポート | ○ | | | |
| | 引込線等との関係(屋外配線等) | ○ | | | |
| | 電管付金属製箱の配電配線(接地地) | ○ | | | |
| 基礎等 | 電管付金属製箱への電源供給の配電配線(接地地) | ○ | | | |
| | 電管付金属製箱への電源供給の配電配線 | ○ | | | |
| | 天井及び「V」及び全線全地線形地線と操作スイッチとの配電配線 | ○ | | | |
| | 機器知照から通断制御盤を経て防湿タンクに至る配電配線 | ○ | | | |
| | 小規模雨水装置の制御盤以外の配電配線 | ○ | | | |
| | 自動検知及び緊急シャッターなどの制御盤に至る配電配線 | ○ | | | |
| | 防湿部 | | | ○ | |
| | 天井点検口 | | | ○ | |
| | エレベータ制御盤までの動力・照明用電源、接地線、防湿部及び配電配線(屋内配線用)の配電配線工事 | ○ | | | |
| | エレベータ制御盤からエレベータ監視装置又は警報装置までの配電配線工事 | | | | ○ |
| エレベータ制御盤監視装置(監視装置) 配電工事 | | | | ○ | |
| エレベータ監視装置監視装置監視装置工事 | ○ | | | | |
| エレベータ制御盤から外観インターホンのための配電配線工事 | | | | ○ | |
| エレベータ制御盤からエレベータ内監視カメラまでの配電配線工事 | | | | ○ | |

⑧

発生材の処理等について

引渡しを要するもの以外は、構外廃棄適切処理とする。

・引渡しを要するもの (・ 金属類 ・ 電線、ケーブル類 ・ 盛盤 ・ PCB使用機器)

・特定生産産業廃棄物 (・ 汚化水感知器 ・ 蓄電池)

○再生資源化を図るもの (○ 蛍光灯ツブ ・ 白熱灯、HID灯)

・石綿含有品

9

特定建設資材の再資源化等

本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する修繕工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」(平成12年11月29日政令第495号)又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は監督職員と協議するものとする。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名前及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。(書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものである)

①分別解体の方法

| 工 程 | 作業内容 | 分別解体の方法 |
|------|--------|-------------|
| ・新築 | 建築設備工事 | ・手作業 |
| ・増築 | ・有 | ・手作業、機械作業併用 |
| ・修繕 | ・無 | |
| ・模様替 | | |

②特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 再資源化等をする施設名称 | 所 在 地 |
|--------------------|--------------|-------|
| ・コンクリート | | |
| ・コンクリート及び鉄からなる建設資材 | | |
| ・木材 | | |
| ・T2727M、2727M | | |

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る。)を受注者が提示した場合は、当該施設に届出することができ。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象となし。

10

建設発生土の処理

11

室内空気中の化学物質の濃度測定

12

天井仕上区分

①

電気工事士

②

機器図面

③

呼び線

④

フラッシュプレート

⑤

電線本数・管路等

⑥

合成樹脂管配線

⑦

薄鋼電線管

⑧

厚鋼電線管

⑨

保護管

10

最上階の埋め込み配管

11

地中配線の埋設深さ等

12

ハンドホールの重

13

電力・電話の引き込み

⑩

機器取付高さ

・ 構内敷きなし

・ 本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工類等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。

・ なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びステレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。

・ なお、測定はパッシブ型採取機器により行う。

測定時期

・ 工事着手前

・ 施工終了時

測定対象

・ 図 示

測定箇所

・ 図 示

△を頭付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

「機器標準取付高さ」

| 名 称 | 測 点 | 取付高さ[m] | 名 称 | 測 点 | 取付高さ[m] | |
|------------|-------|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| 電力通 | 柱上 | 1.800~2.000 | 出 | 柱上 | 1.800~2.000 | |
| 電 | 引出開閉箱 | 地上～中心 | 1.800~2.200 | 出 | 地上～中心 | 1.800~2.200 |
| 分電盤 | 床上～中心 | 1.500 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| スイッチ | 床上～中心 | 上端 1.900 以下 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| スイッチ（多回開閉） | 床上～中心 | 1.100 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| スイッチ（自動開閉） | 床上～中心 | 1.800 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （一極） | 床上～中心 | 300 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二極） | 床上～中心 | 150 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （百極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |

図面に特記無き場合は、次の「機器標準取付高さ」による。

「機器標準取付高さ」

| 名 称 | 測 点 | 取付高さ[m] | 名 称 | 測 点 | 取付高さ[m] | |
|------------|-------|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|
| 電力通 | 柱上 | 1.800~2.000 | 出 | 柱上 | 1.800~2.000 | |
| 電 | 引出開閉箱 | 地上～中心 | 1.800~2.200 | 出 | 地上～中心 | 1.800~2.200 |
| 分電盤 | 床上～中心 | 1.500 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| スイッチ | 床上～中心 | 上端 1.900 以下 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| スイッチ（多回開閉） | 床上～中心 | 1.100 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| スイッチ（自動開閉） | 床上～中心 | 1.800 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （一極） | 床上～中心 | 300 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二極） | 床上～中心 | 150 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （二十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （三十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （四十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （五十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （六十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （七十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十一極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十二極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十三極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十四極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十五極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十六極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十七極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十八極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | 1.300 | |
| （八十九極） | 床上～中心 | 150~200 | 示 | 地上～中心 | | |

●

3

電力

●

受電

●

3

通信情報

●

5

改修

●

1

股

●

事項

●

2

照度測定

●

3

発電回路照明器具

●

4

発電回路コンセント

●

5

電動機等の接地

●

6

分電盤等

●

7

O A 盤・端子盤

●

8

インバータ装置の規約効率

●

9

低圧配電盤

●

10

設備機器容量等

●

1

局 線

●

2

電界強度の測定

●

3

ケーブル

●

①

施工調査

●

2

仮設備工事

●

3

養生

●

④

は つ り

●

5

非破壊検査

●

⑥

既設との取合い

特記事項

一般照明の照度測定を（ 3 箇所）測定する。
なお、測定場所は、監督職員との協議とする。

発電回路に接続される照明器具は、回路種別が識別できる表示を行う。（シールの貼付等）

発電回路に接続する新設のコンセントは、回路種別が識別できるものとする。
なお、特記なき場合、自家発電装置に接続する回路は原則として赤色コンセントとする。

金属配電線において、電動機容量 7.5k W 以下は金属管を接地線とする。

本工事の分電盤・O A 盤・実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1：附属書J(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E、200V2P2E)とする。
また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：附属書J(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P2E)とする。

O A 盤の端子盤部及び端子盤には、換気口を設けるものとする。

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

| | | | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 電動機出力(kW) | 0.4 | 0.75 | 1.5 | 2.2 | 3.7 | 5.5 | 7.5 | 11 |
| 規約効率(%) 200V | 86.0 | 88.5 | 92.0 | 93.0 | 94.0 | 94.0 | 94.5 | 94.5 |

| | | | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 電動機出力(kW) | 15 | 18.5 | 22 | 30 | 37 | 45 | 55 | 75 |
| 規約効率(%) 200V | 95.0 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 95.5 |

低圧配電盤に用いる配線用遮断器は埋込形とし、全て警報接点付きとする。

本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。

局線の新增設移転の手続きは、本工事とする。

最上階フロアのコンクリート打設前に、受信電波の電界強度測定を 3 か所以上行うこと。
また、その報告書を監督職員まで提出すること。

EM-UTケーブルは、使用用途が判別できるようシース色等を変えること。

事前調査 (〇 本工事 ・ 別途)
調査項目 (・ 既存資料調査 ・ 既存配線等)
調査範囲 (・ 図示 〇 工事範囲)
調査方法 (・ 図示 〇 目視 ・)


仮電源 ・ 受変電設備 ・ 発電設備
仮設備期間 ・ ケ月 ・ 図示による

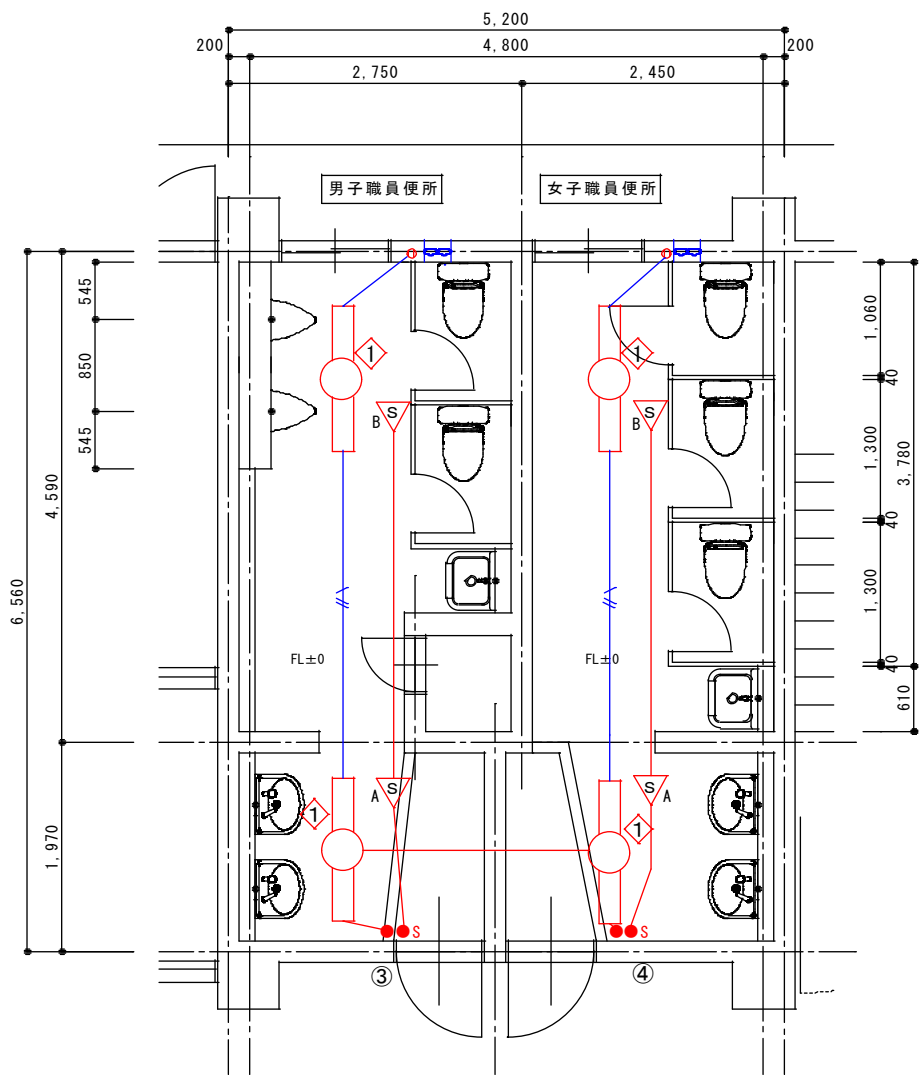
既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編第1章による。
養生範囲 (・ ・) 養生方法 (・ ・)

はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記なき場合はダイヤモンドカッターによる。

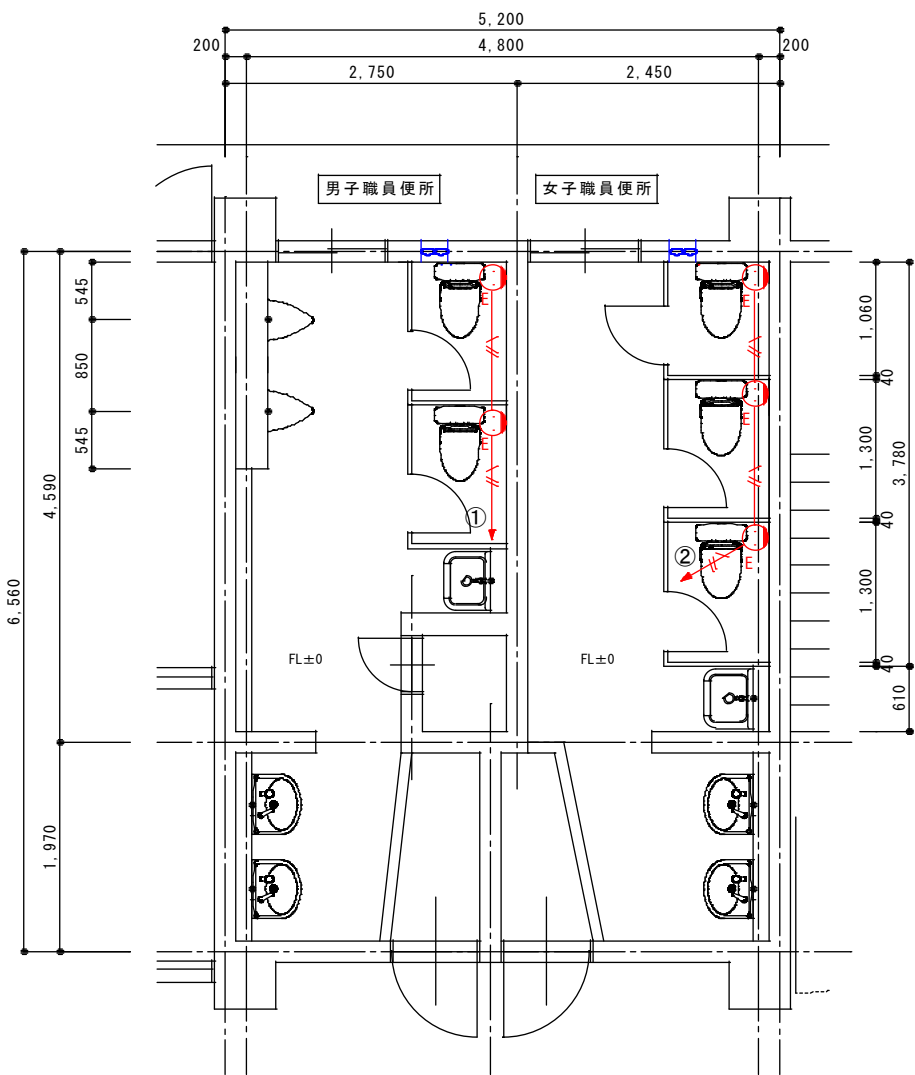
非破壊検査による埋設物の調査 (・ 要 ・ 不要)
なお、範囲及び検査方法は監督職員と協議するものとし、費用は別途とする。

本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。

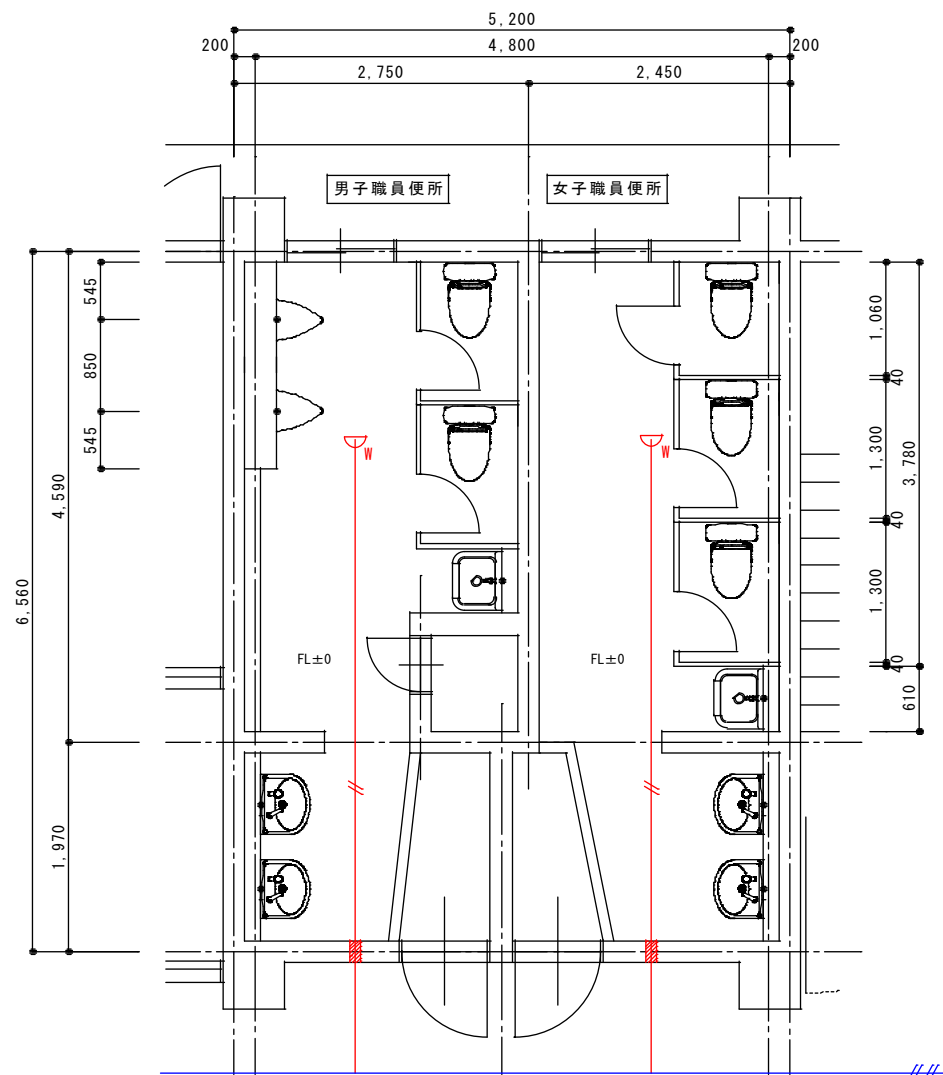
| | | | | | | | |
|------|--|-------------------------------|----|----------------|--|--------------------|-------|
| 整理番号 | | 工事名 令和3年度 浜島中学校他トイレ改修工事 | 図名 | 縮尺 | <div></div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-1789号 瀧 鼻 設 計 事 務 所 〒517-0503 三重県志摩市阿児町立神3055-1 電話 (0599) 45-2188番</div> | 一級建築士 大臣登録第284718号 | 図面No. |
| | | | | A2: - | | 瀧 鼻 健 一 E - 01 | |
| | | | | A3: A2 × 70.7% | | | |
| | | | | | | | |



改修後 1階職員便所電灯設備図 1/50



改修後 1階職員便所コンセント設備図 1/50



改修後 1階職員便所火災報知設備図 1/50

既設配線
新設配線

注記

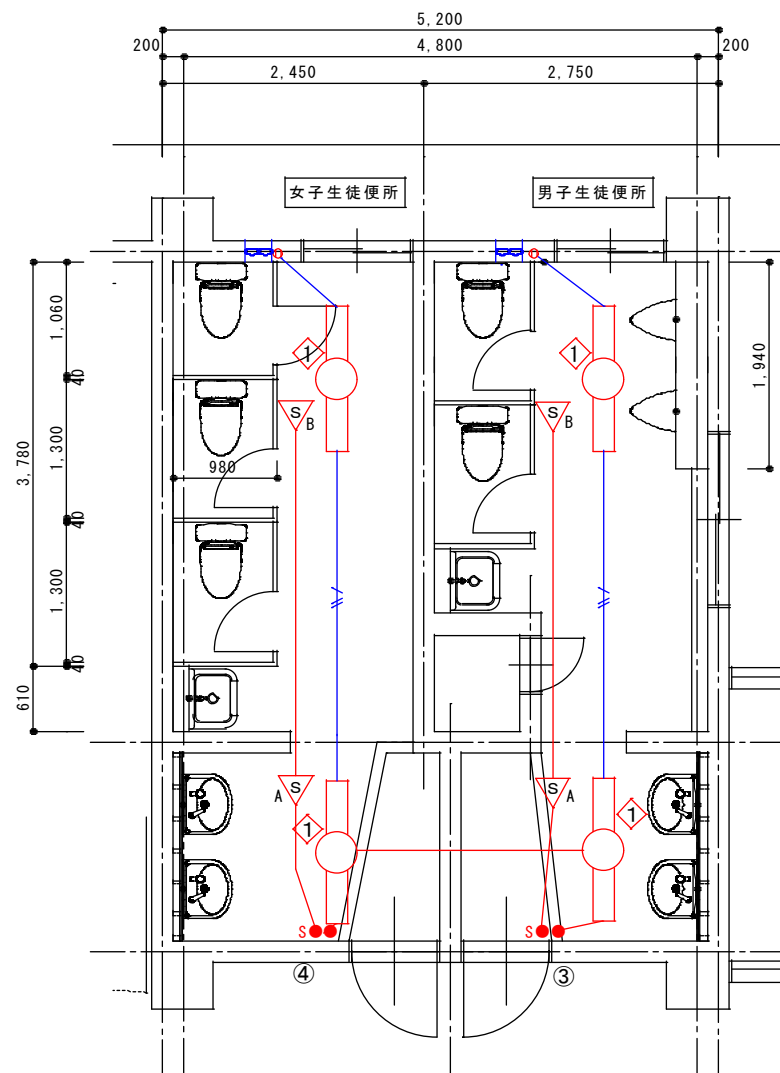
| | |
|---|----------------------|
| | EM-EEF2.0-3C |
| ① | EM-EEF2.0-3C (既設へ接続) |
| ② | EM-EEF2.0-3C (既設へ接続) |
| ③ | 既設配線流用 |
| ④ | 既設配線流用 |
| | 新設LED照明 |
| | 人感センサー (親機) |
| | 人感センサー (子機) |
| | アース付きコンセント |
| | 切替スイッチ |

撤去

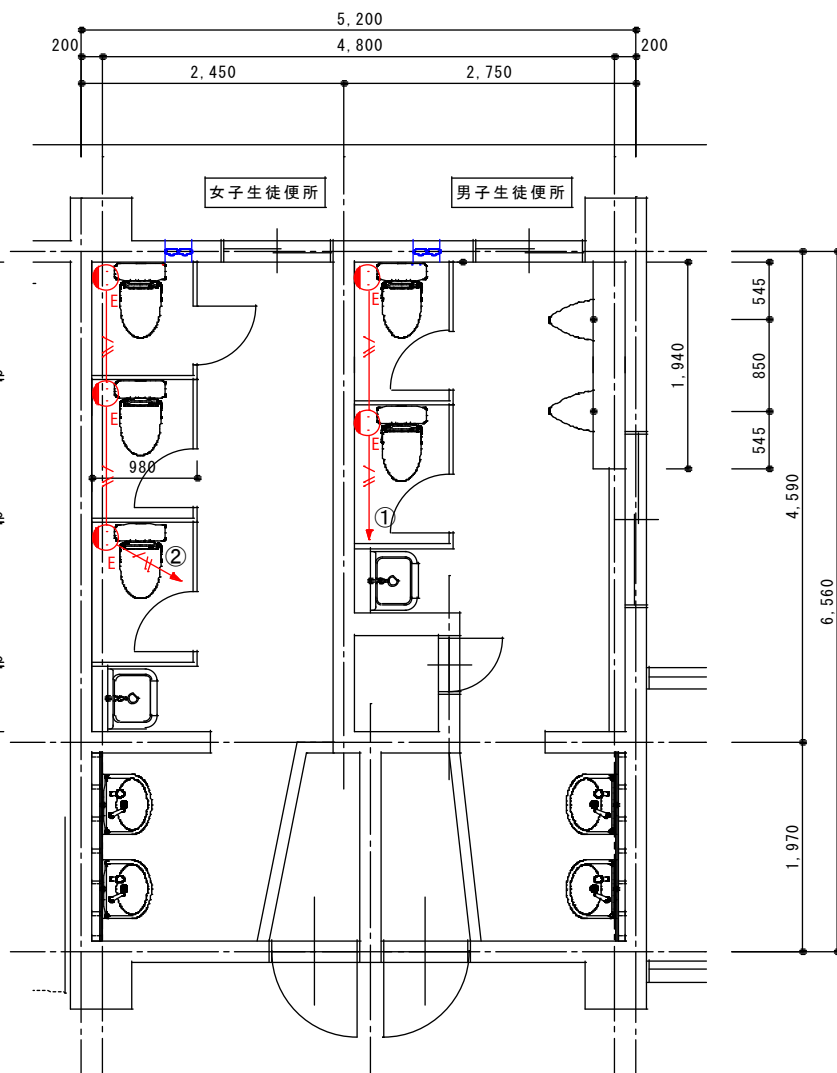
| | |
|--------|----------------------|
| 男子職員便所 | 既設蛍光灯撤去 (FL40W×1 2灯) |
| 女子職員便所 | 既設蛍光灯撤去 (FL40W×1 2灯) |

注記

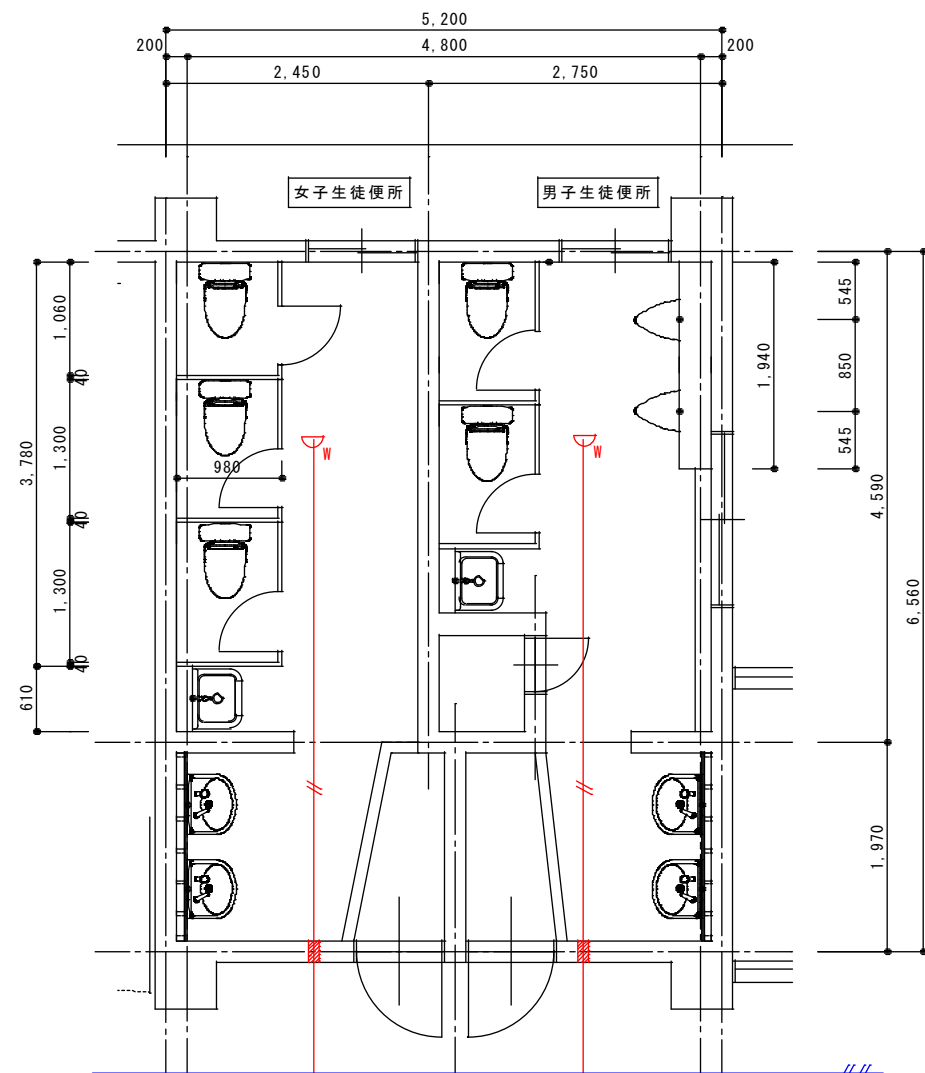
| | |
|--|---------------------|
| | EM-AE1.2-2C |
| | 貫通処理部を示す |
| | 感知器 定温式スポット型 1種 防水型 |



改修後 1 階生徒便所電灯設備図 1/50



改修後 1 階生徒便所コンセント設備図 1/50



改修後 1 階生徒便所火災報知設備図 1/50

既設配線
新設配線

注記

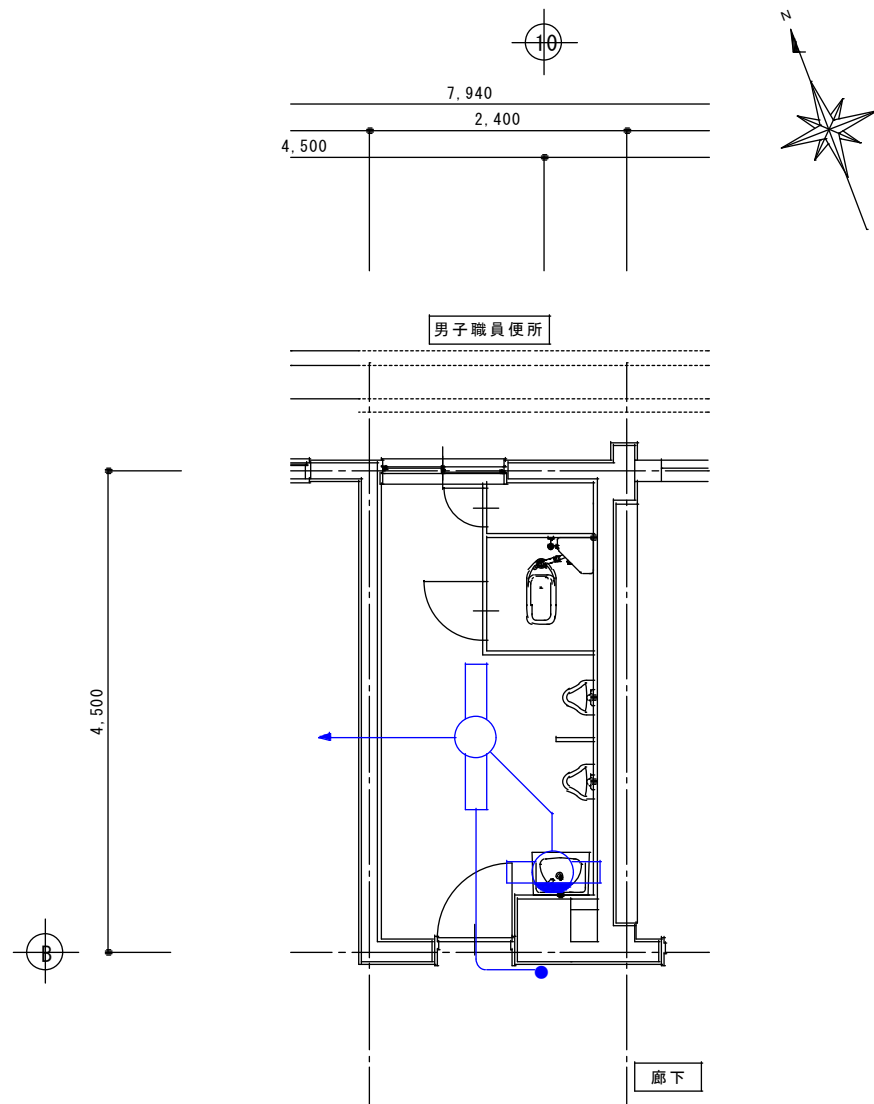
| | |
|---|--------------------------|
| | EM-E EF 2. 0-3 C |
| ① | EM-E EF 2. 0-3 C (既設へ接続) |
| ② | EM-E EF 2. 0-3 C (既設へ接続) |
| ③ | 既設配線流用 |
| ④ | 既設配線流用 |
| | 新設LED照明 |
| | 人感センサー (親機) |
| | 人感センサー (子機) |
| | アース付きコンセント |
| | 切替スイッチ |

撤去

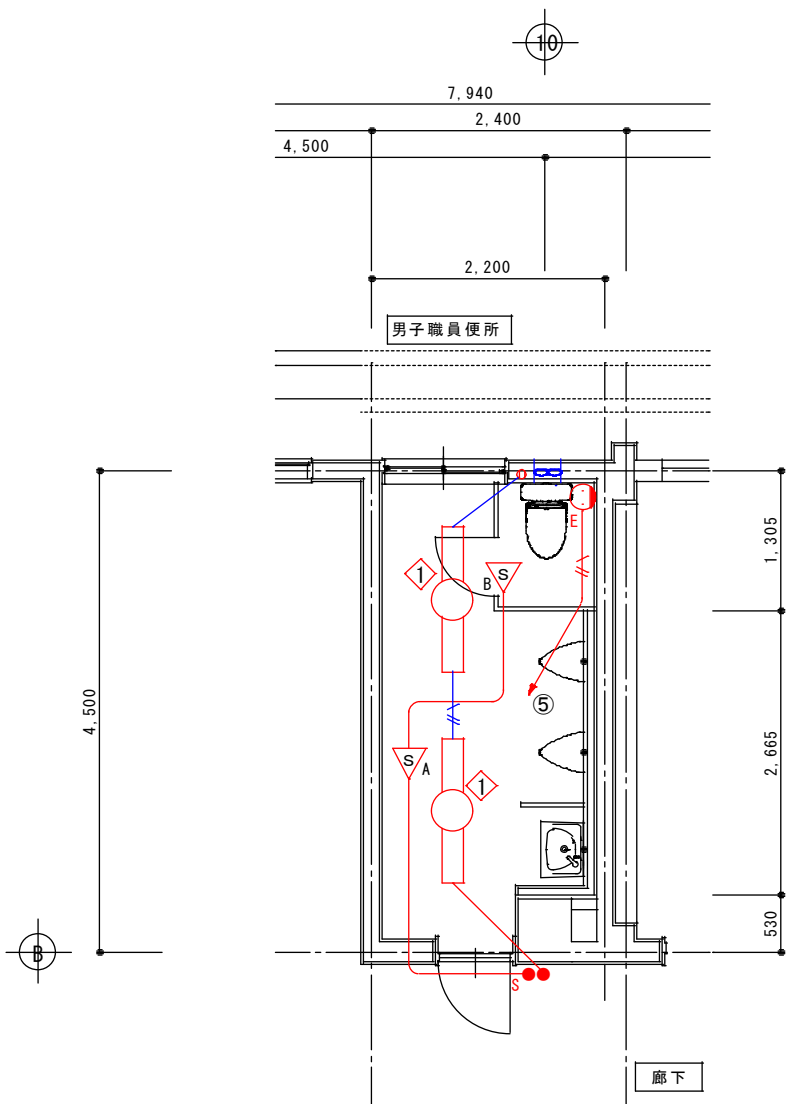
| | |
|--------|----------------------|
| 男子生徒便所 | 既設蛍光灯撤去 (FL40W×1 2灯) |
| 女子生徒便所 | 既設蛍光灯撤去 (FL40W×1 2灯) |

注記

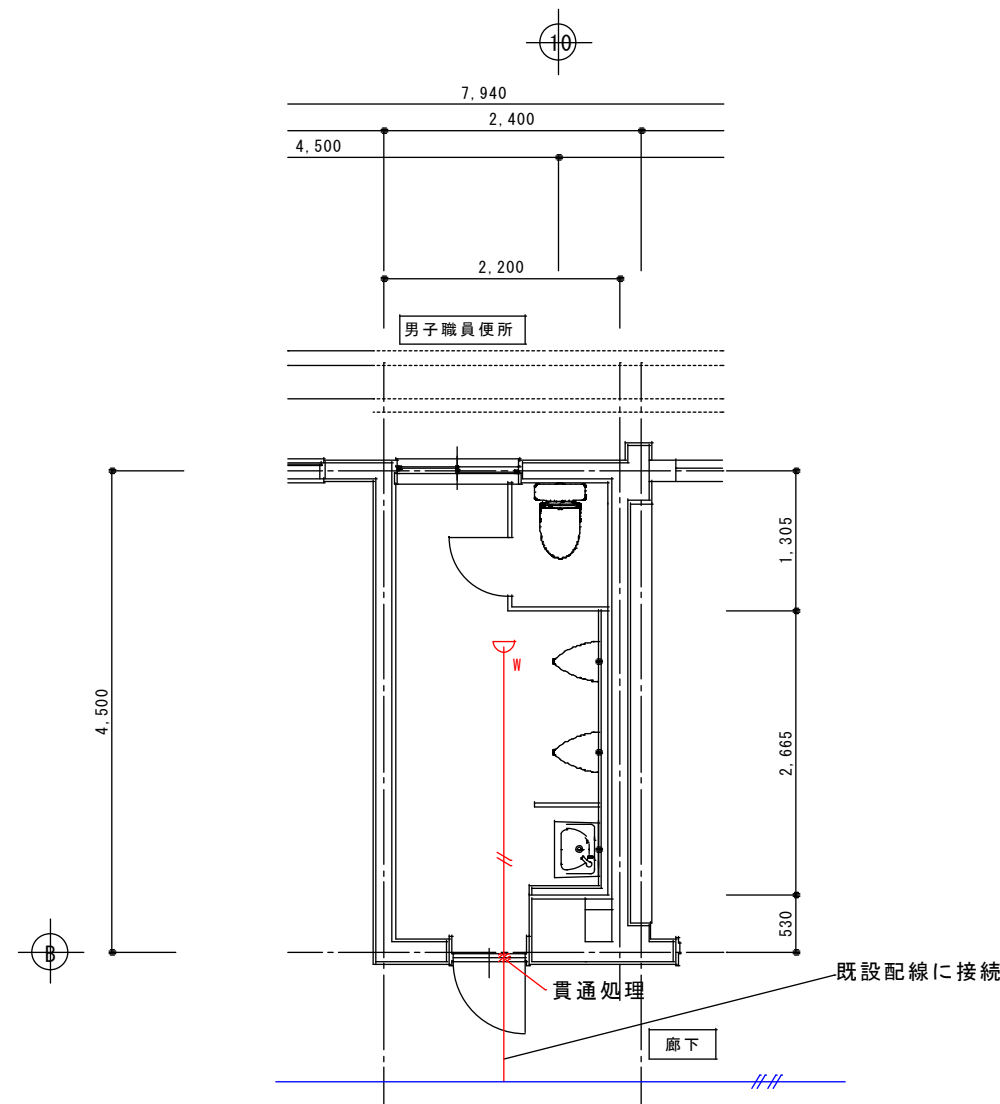
| | |
|--|---------------------|
| | EM-AE1. 2-2C |
| | 貫通処理部を示す |
| | 感知器 定温式スポット型 1種 防水型 |



改修前 1階男子職員便所電灯設備図 1/50



改修後 1階男子職員便所電灯コンセント設備図 1/50



改修後 1階男子職員便所火災報知設備図 1/50

撤去

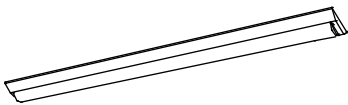


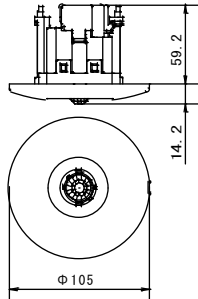
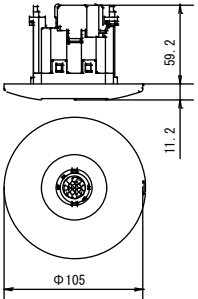
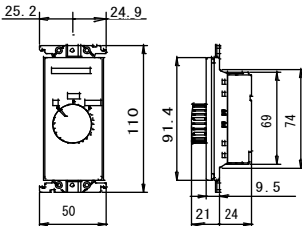
| | |
|--------|----------------------|
| 男子職員便所 | 既設蛍光灯撤去 (FL40W×1 1灯) |
| 男子職員便所 | 既設蛍光灯撤去 (FL15W×1 1灯) |


注記

| | |
|--|----------------------|
| | EM-EEF2.0-3C |
| | EM-EEF2.0-3C (既設へ接続) |
| | 新設LED照明 |
| | 人感センサー (親機) |
| | 人感センサー (子機) |
| | アース付きコンセント |
| | 切替スイッチ |


注記

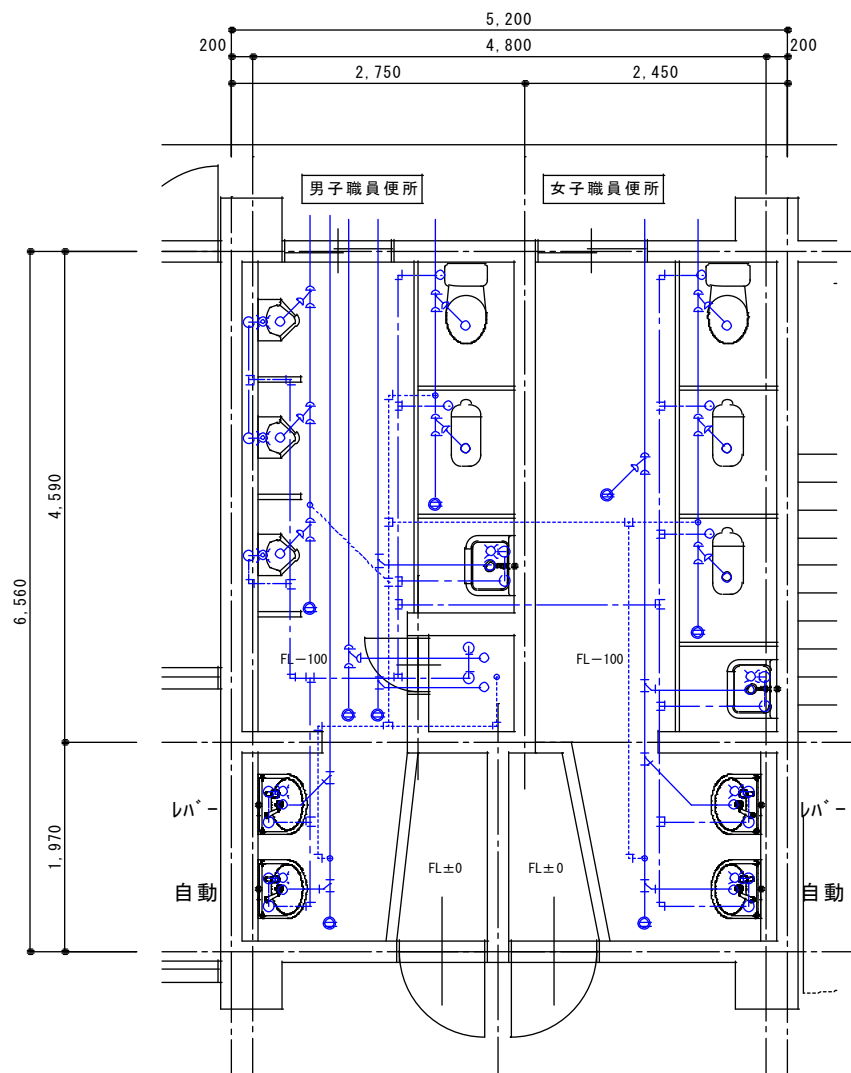
| | |
|--|---------------------|
| | EM-AE1.2-2C |
| | 貫通処理部を示す |
| | 感知器 定温式スポット型 1種 防水型 |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 1 | i Dシリーズ直付型 4 0 形 Dスタイル W150 | | | | | | |
| | 公共施設用照明器具：LSS9-4-65 | | | | | | |
| <div></div> <p>一般タイプ、6800lmタイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | <div></div> <p>天井取付 熱線センサ付自動スイッチ （親器・8Aタイプ・広角検知形）（検知後連続動作時間 約10秒～30分可変形）（明るさセンサ付）（AC100V）</p> | | | <div></div> <p>天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（子器）</p> | | | |
| <div></div> <p>定 格 8A 100V AC WTK24818 （参考品番）</p> | | <div></div> <p>定 格 5mA 12V DC WTK2910K （参考品番）</p> | | | | | <div></div> <p>定 格 15A 250V WTC5820W （参考品番）</p> |

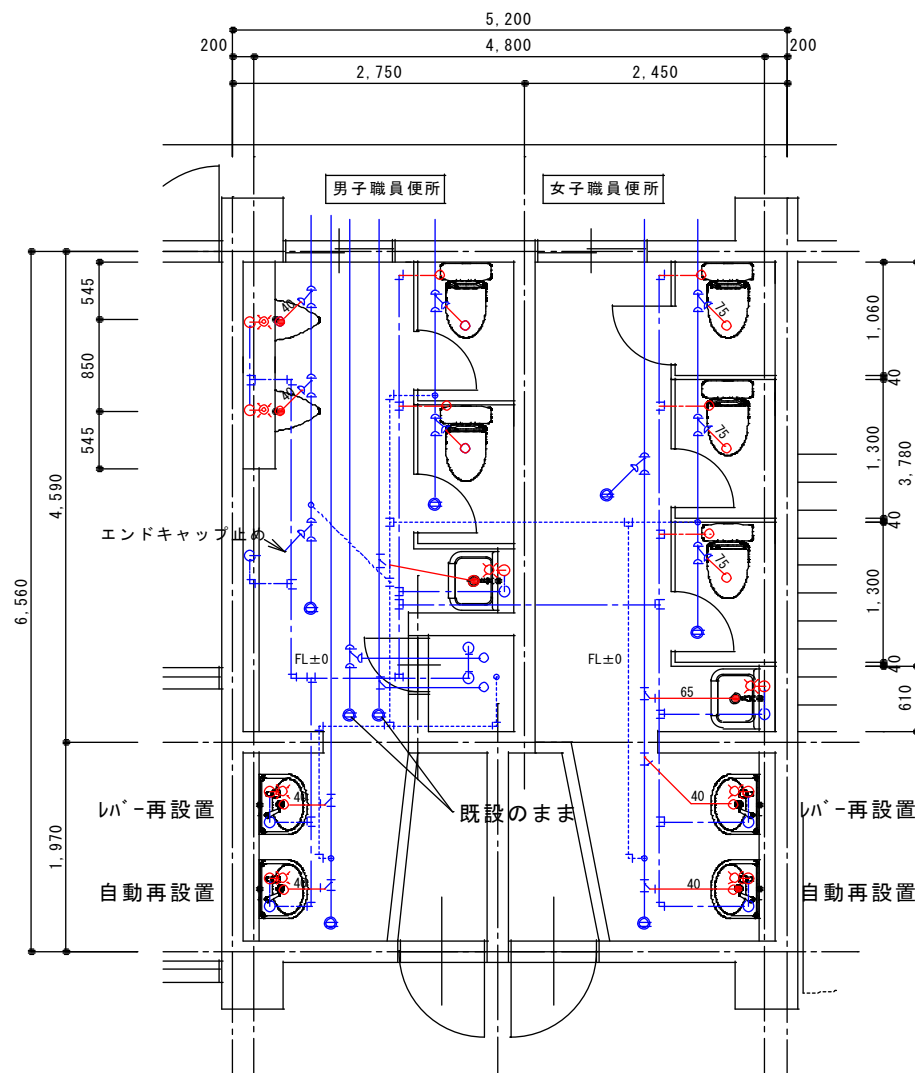
| | | | | | | | |
|------|--|-----------------------------------|------------|----------------|---|-------------------------------|-------------------|
| 整理番号 | | 工事名 令和3年度 浜島中学校他トイレ改修工事 | 図名 | 縮尺 |  一級建築士事務所 三重県知事登録第1-1789号 瀧 鼻 設 計 事 務 所 〒517-0503 三重県志摩市阿児町立神3055-1 電話 (0599)45-2188番 | 一級建築士 大臣登録第284718号 瀧 鼻 健 一 | 図面No. E-05 |
| | | | 改修後 照明器具姿図 | A2: ー | | | |
| | | | | A3: A2 × 70.7% | | | |
| | | | | | | | |

| 章 | 項目 | 事項 | 機 材 等 名 |
|---------|--|---|--|
| ●衛生器具設備 | ①小便器 ②水栓 ③掃除流し 4.和風便器耐火カバー ⑤大便器洗浄方式 | 洗浄水量は4 L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ○カウンター取付け形 ・耐寒水栓（吊コマ） ・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 排水口は（○目皿 ・ 鎖付きコム栓）とする。 和風便器の防火区画貫通処理は標準図による。 ○洗浄タンク ○フラッシュバルブ | 鋼製ボイラー 鋼製簡易ボイラー 鋼製小型ボイラー 铸铁製ボイラー 真空式温水発生機（鋼製・铸铁製） 無圧式温水発生機（鋼製・铸铁製） チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット 通心冷凍機 吸収冷温水機 吸収冷温水機ユニット 冷却塔 ユニット形空気調和機 コンパクト形空気調和機 ファンコイルユニット カセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 エアフィルター（バネル形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器 全熱交換器（回転形、静止形） 通心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機 空調用密閉形隔膜式膨張タンク 風量ユニット（定風量、変風量） 自動制御システム 衛生器具ユニット 横形遠心ポンプ 立形遠心ポンプ 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） FRP製バネルタンク ステンレス鋼板製バネルタンク（溶接組立形） ステンレス鋼板製バネルタンク（ボルト組立形） 給湯用密閉形隔膜式膨張タンク スプリングラック消火システム 泡消火システム 不活性ガス消火システム ハロゲン化物消火システム 厨房システム マンホールふた・弁棚ふた |
| ●給水設備 | ①配管材料 2.引き込み納付金 3.量水器 4.量水器樹 5.水栓柱 6.管の地中埋設深さ 7.凍結深度 | (1)一般配管 ・ステンレス鋼管（SUS304） ○塩ビライニング鋼管（・VA又はVB ・ ） ・ポリ紛体鋼管（・PA又はPB ・ ） ○硬質塩化ビニル管（HIVP）区画貫通部は大臣認定工法による。 上記の選択で、ポリ紛体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はPD又はVDとする。 (2)地中埋設配管○硬質塩化ビニル管（HIVP） ・塩ビライニング鋼管（VD） ・ポリ紛体鋼管（PD） ・ポリエチレン管 (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 観メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ バルス式） （ ・ 貸与品 ・ ） 観メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ バルス式） （ ・ 貸与品 ・ ） ・水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り） ・ 標準図MC形 ・合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 ・埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より（ ・ 600mm ・ mm）以上 その他の部分では管の上端より（ ・ 300mm ・ mm）以上 屋外配管の凍結深度は mm | 別表－1 |
| ●排水設備 | ①配管材料 2.洗面器等の排水管 3.放流納付金 4.満水試験継手 | (1)屋内 汚水管 （及び屋外第一樹まで） ・排水用塩ビライニング鋼管 ・ ・コーティング鋼管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP） ○硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP） ・硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・コーティング鋼管 (2)屋外 樹間 ・硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ） ・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP－VU） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS－VU） ・コンクリート管（ ・ 外圧管1種のB形 ・ ） リサイクルビニル管の適用範囲（RF－VP）：屋内の無圧の排水配管用（REP－VU）：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管（RS－VU）：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 (1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。 (2)給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（RF－VP）でもよい。 (3)大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（RF－VP）とする。 ・要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 図示の位置に取り付ける。 | |
| ○給湯設備 | 1.配管材料 2.保温 3.その他 | 給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水を含む） ・ステンレス鋼管（SUS304） ・ 鋼管 ・耐熱性ライニング鋼管 ・ 被覆鋼管 ・保温付き被覆鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 標準仕様書第2編3.1.5によるほか、下記による。 ・湯沸器の給排水筒（二重管）の隠ぺい箇所は表2.3.5のh・（イ）・Ⅹの保温を行う。 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。 | |
| ○消火設備 | 1.配管材料 2.屋内消火栓種別 3.屋内消火栓開閉弁 4.地中埋設配管の接合 5.保温 | (1)屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ (2)連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Sch40） 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG－370VS） (3)連結散水管 ・ ・易操作性1号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 箱内に別送機器（発信機及び電鈴）取付用の板を設ける。 ・10K ・ 外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合とする。 屋外露出部分 ・有（標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による。） ・無 | |
| ○設備 | 1.機器の寸法 2.機器の機能等 | 概略寸法とする。 図示による。 | |
| ○ガス設備 | 1.配管材料 2.ガス充てん容器 3.ガスメータ 4.ガス漏れ警報器 5.気密試験 | ・都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 ・液化石油ガス 一般配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中埋設配管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・借用 ・ 本工事 観メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 観メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） ・本工事（図示による） 外部出力端子 ・有 ・無 ・別途工事 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 液化石油ガス 保持時間は、2分4分以上とし記録計による測定表を提出する。 | |
| ○槽浄設備 | 1.形式 2.測定表 | ・ユニット形 ・ 現場施工形 一定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。 | |

| | | | | | | | |
|------|--|-----------------------------------|----------------|----|--|--------------------------------------|-------------------|
| 整理番号 | | 工事名 令和3年度 浜島中学校他トイレ改修工事 | 図名 | 縮尺 |  一級建築士事務所 三重県知事登録第1-1789号 瀧 鼻 設 計 事 務 所 〒517-0503 三重県志摩市阿児町立神3055-1 電話 (0599) 45-2188番 | 一級建築士 大臣登録第284718号 瀧 鼻 健 一 | 図面No. M-02 |
| | | | 機械設備特記仕様書 No.2 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |



改修前 1階職員便所平面詳細図 1/50



改修後 1階職員便所平面詳細図 1/50

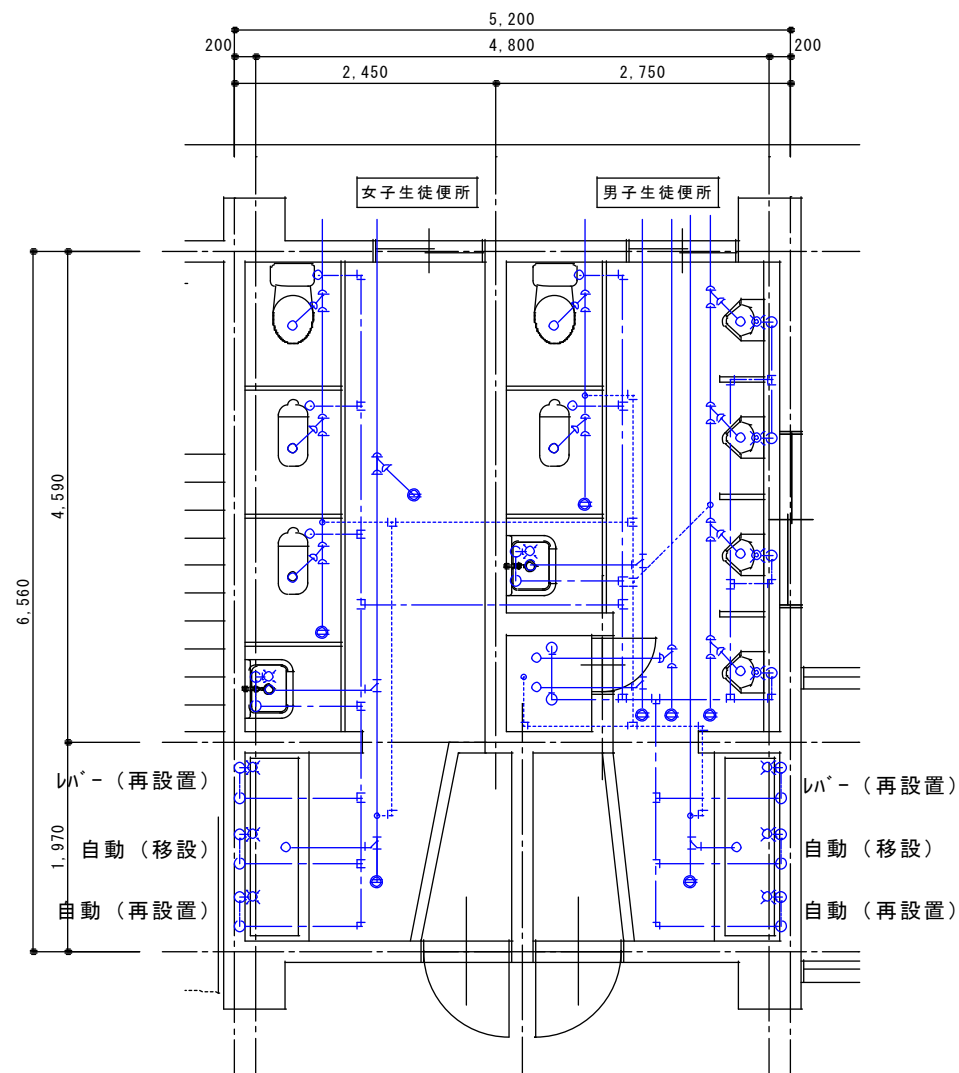
女子職員便所 撤去器具表

| | | |
|-----|---|----|
| 和便器 | 2 | 撤去 |
| 洋便器 | 1 | 撤去 |
| 洗面器 | 2 | 撤去 |
| S K | 1 | 撤去 |

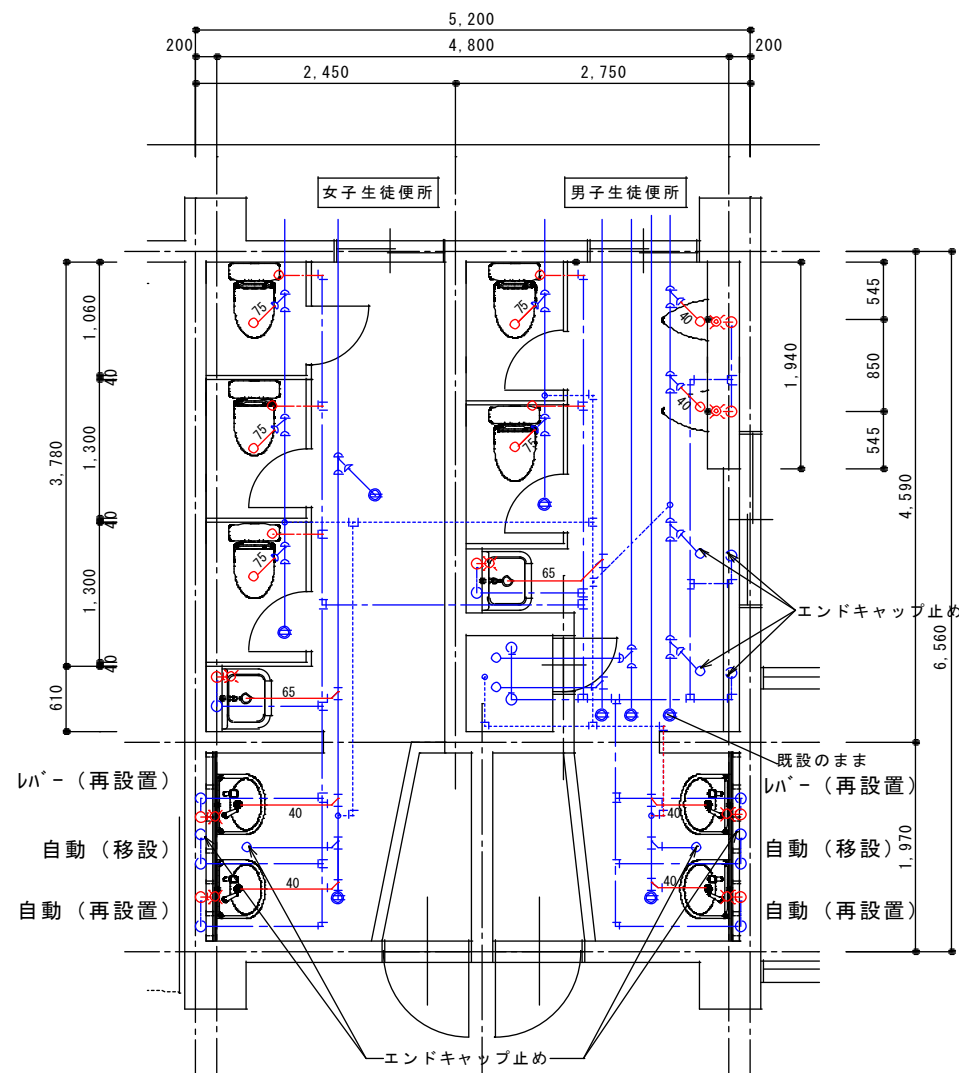
男子職員便所 撤去器具表

| | | |
|-----|---|----|
| 和便器 | 1 | 撤去 |
| 洋便器 | 1 | 撤去 |
| 小便器 | 3 | 撤去 |
| 洗面器 | 2 | 撤去 |
| S K | 1 | 撤去 |

— 既設配管
— 新設配管



改修前 1階生徒便所平面詳細図 1/50



改修後 1階生徒便所平面詳細図 1/50

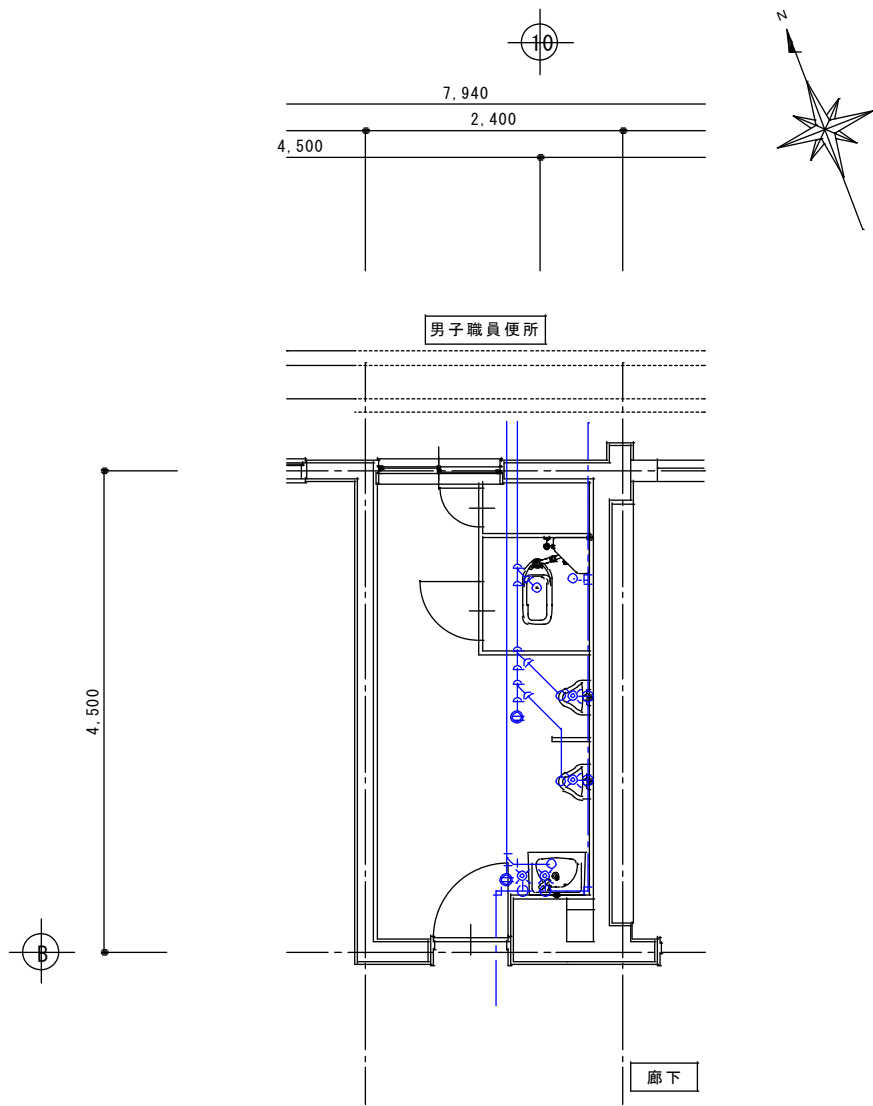
女子生徒便所 撤去器具表

| | | |
|--------|---|----|
| 和便器 | 2 | 撤去 |
| 洋便器 | 1 | 撤去 |
| テラゾー手洗 | 1 | 撤去 |
| S K | 1 | 撤去 |

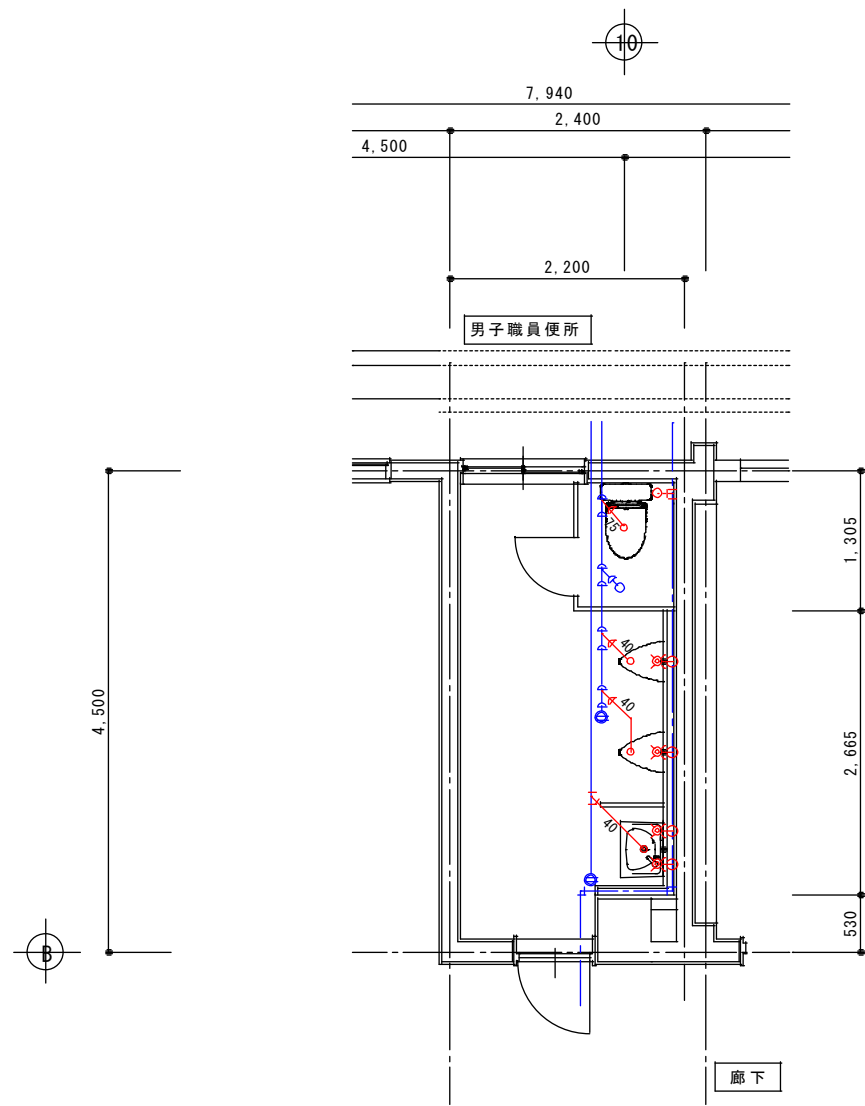
男子生徒便所 撤去器具表

| | | |
|--------|---|----|
| 和便器 | 1 | 撤去 |
| 洋便器 | 1 | 撤去 |
| 小便器 | 4 | 撤去 |
| テラゾー手洗 | 1 | 撤去 |
| S K | 1 | 撤去 |

— 既設配管
— 新設配管



改修前 1階男子職員便所平面詳細図 1/50



改修後 1階男子職員便所平面詳細図 1/50

男子職員便所 撤去器具表

| | | |
|-----|---|----|
| 和便器 | 1 | 撤去 |
| 小便器 | 2 | 撤去 |